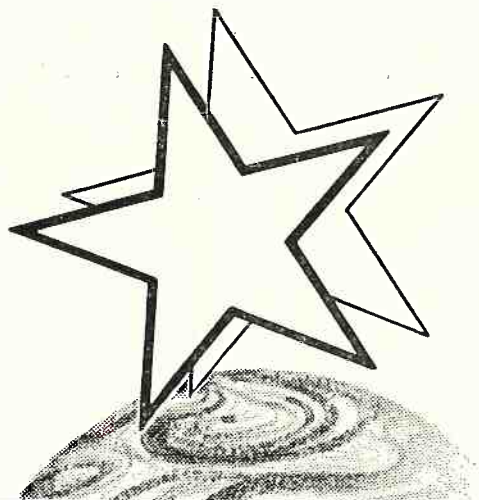


明日を創る

特殊鋼づくりをはじめ、工業炉から
省力・公害防止装置まで、鉄鋼・非鉄
各種生産ラインのシステムをつくる
企業、それが大同製鋼です。



★ 大同製鋼

取締役社長 武田 喜三

本社・支社・支店・営業所
名古屋市中区錦一丁目11-18(興銀ビル)
東京・大阪・福岡・札幌・広島



一流選手の目じるし 栄光の《オニツカライン®》



栄光の予感は《タイガー®》を履いたときから。

Onitsuka
Tiger

世界選手権大会でも大活躍した精鋭マシン

タイガー®ハンドボール革

カンガルー皮に白パール加工の最高級甲皮使用。/ 22.5~27.5

競技専用シューズの総合メーカー **オニツカ株式会社** 神戸・大阪・東京・福岡・名古屋・札幌

モントリオールへ若い第一歩

全日本男子 新陣容発表

田・中井の二人を残すだけ、男子ナショナルでは初のティーンエイジャー・蒲生をはじめ全日本ジュニアから6人が昇格するという若さにあふれた陣容である。

新鮮さを打ち出した一方、目前のアジア予選を勝ち抜くため、国際キャリアのある藤中、大江、花輪、佐藤ら中堅クラスを加えた。監督は昨夏すでに北川勇喜氏(38才、日本大男子監督、日本大出)が決まっており、コーチには木野実氏(27才、湧永薬品、F.P.、立教大出)が登用された。イスラエルには2月上旬向かう予定である。

なお、常務理事会の決議に参加辞退については、IHF(国際ハンドボール連盟)から再検討が強く要望され、棄権となれば、その理由いかんにかかわらず、ベラルーティが科せられるだろうとの警告もあり、日本協会はかつてない「危機」に立たされていた。

新・全日本は24名でこのうち12名が遠征、残りは「全日本B」(3頁参照)とされた。

遠征メンバーのうちミュンヘンオリンピック経験者はわずかに本

の議論の末、会長、副会長、荒川理事長の「5者会談」によって煮詰められた結論である。この決定は1月12日の月例常務理事会が「中東における安全の保証がなお充分でない」とし派遣を見合わせるとした決議をくつがえすもので、田村会長は、万全を期すため1月下旬、同会長と林達夫副会長(遠征団々長)がイスラエルへおもむき、同国関係者、日本大使館などと話合うことになったと発表、各理事も了解した。

全日本女子、10位にとどまる 世界選手権

第5回世界女子選手権は、昨年12月8日から14日までユーゴスラビアの首都ベオグラードを主会場にして華々しく開かれ、アジア代表・日本は、またしてもヨーロッパの壁にはね返され参加12ヶ国の第10位に終わった。

4度目の出場をはたす日本(田村正衛団長ら役員3、選手12人)は、前哨戦のオランダ国際トーナメント(11月23、25日)でみごとに優勝するなど元氣いっぱい、自信をもっての乗りこみだったが、予選リーグB組での緒戦・ルーマ

◇

ニア戦で強引なルーミアニアの攻撃をかわけられず12-24で敗れた。つづくノルウェー戦はオランダ国際で14-12と勝った相手だけに、有利とみられたが、ノルウェーは、開幕前夜急ぎょエントリーに加えた往年のエース、K・フラセットを中心とした攻撃でたえず先行、日本は後半開始直後6-6

といちどはタイに迫っていたが、そのあと連続7ゴールを奪われて敗退、ベストエイトからさらに5、6位を狙おうという野望をくじかれてしまった。

9-12位決定リーグに廻った日本はオランダに15-11で制勝、東

ドイツ(前回優勝国)とは激しい攻防のやりとりの末12-17で惜敗、西ドイツとの最終戦は13-10で快勝した。

10位に留ったとは云え大会後半にみせた日本の実力は、上位国にヒゲをとらぬものであり、モントリオールオリンピックへの希望を明るくしたものとえよう。

なお、優勝戦は地元ユーゴと2度目の栄冠を狙うルーミアニアが激闘を演じ、ユーゴが後半一気に勝負を決め16-11で勝ち、男子(ミュンヘンオリンピック優勝、昨秋来日)とともに、世界一の座につく快挙をとげた(関連記事6頁)

これは各理事による延々4時間

代表選手権アジア選手権

- ス鋼 鹿鋼 竹鋼 大大 大綱 大
- グ製 製 研製 大 製 田 製
- 一 同 技 レ 京 政 央
- 阪 同 同 同 同 同 同
- 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
- 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
- (26) (22) (24) (24) (23) (21) (20) (19)
- (22) (24) (24) (23) (21) (20) (19)
- 洋 清 二 三 夫 博 治 悟 男 美 明
- 憲 要 武 隆 真 幸 晴
- 田 川 中 藤 井 江 輪 目 池 田 川 生
- 本 柳 藤 佐 中 大 花 夏 菊 村 柳 蒲

▽GK
▽FP

「ハンドボール」

49年2月号(第116号) 目次

新全日本男子決まる……………	(1)
日本女子10位に……………	(1)
アジア予選代表の横顔……………	(2)
アジア予選近づくと……………	(3)
世界男子地域予選……………	(5)
世界女子選手権……………	(6)
国際トーナメント……………	(10)
世界女子選手権記録……………	(12)
IHF審判講習会報告……………	(14)
安藤純光……………	(14)
理事長登壇②……………村田 稔	(17)
第25回全日本総合選手権……………	(18)
全日本総合に拾う……………	(24)
東ドイツとの交流決まる……………	(25)
海外トップックス……………	(26)
頂点強化への提言……………	(28)
宇津野年一……………	(28)
海上自衛隊全国大会……………	(29)
各地の記録……………	(30)

【表紙写真】第25回全日本総合男子の優勝をかけた大同製鋼×湧永薬品戦。大同・藤中の攻撃を懸命に防ぐ湧永ディフェンス(12月16日東京体育館 撮影・山田真市)

新しい長期計画へ踏み出す

新全日本の背景

ミュンヘン以後、ユーゴ戦を行っただけで鳴りをひそめていた日本協会の男子頂点強化対策が再び活動、1頁所報のとおり、世界選手権アジア予選代表12名を決めたほか新制度・全日本B12名も決定。この24名を軸にモントリオールオリンピックに向けて新たなステップが踏みだされた。

ミュンヘン・オリンピック代表のうち新・全日本へ残したのは本田(大阪イギリス、GK)、中井(大同製鋼、FP)の二人だけ。突に思い切ったメンバーの切り替えてある。(注・ほかにも今回は木野が選手登録)

昨秋11月11日の全国理事会でこの構想を荒川理事長が初めて公けにした時、出席した理事からは二、三の質問が出たにとどまり、強い反対がなかった。

ミュンヘン大会の結果、さらにユーゴの来日で改めてヨーロッパ一流国とわが国との「差」が痛感させられ、ちょっとやそっとの強化では世界の上位へ進出できないことを誰もが再認識したからである。

飯田、野田、近森ら姿消す
新しい長期計画を採ろう—今回

発表された全日本は、この方針の最初の着手である。

そのために、飯田(大崎電気)、野田(大同製鋼)、早川(大阪イギリス)、近森、下里(ともに元大崎電気)ら、近年のハンドボール熱上昇の立役者たちがそのリストから消えた。

彼らは、ベテランとは云え国内最高水準の技術を誇っている現役だ。その力と技を惜しむ声此起彼伏であろうし、新全日本のキャリアに不安が生じることもあるかもしれない。しかし、あえて、将来性に富んだ若手を中心に選手選考した日本協会(選考委員会)の腹の内は、今後とも新陳代謝を最善かつ円滑にするための布石にする狙いがあったからだ。

今回の選考方針は、英断だとされている。だが荒川理事長は「このような、交替」が英断であってはならない。ごく当然の流れという意識が育ってこそ、日本は世界の最上位を狙うことができるといふ。

A—B間の入れ替えも
全日本B(3頁参照)という新システムも日本協会の、将来への意欲のあらわれの一つである。

世界選手権(アジア予選)帰国

後、代表選手の再評価を行いBとの入れ替えを行う予定もすでに建てられている。

「49年度ナショナル」がモントリオール・オリンピックへの第一次候補選手となることは、求年にせまったアジア予選までの時間を考えれば必至であり、日本協会の男子頂点強化対策はミュンヘン後の沈黙を一気に取り返すように、ものにわかにその動きは意欲にみちたものとなってきた。

なお、男子監督について、1月12日の月例常務理事会で、荒川理事長は重ねて「今回の世界選手権で一区切りとする」と述べた。

ジュニアも 日本協会・渡辺慶
近く新編成 寿技術部長代行は1月12日の月例常務理事会で「全日本ジュニア(男子のみ)」について今春3月までにメンバーの補充を行うと発表した。

これは、一昨年11月に発表した29名(本誌10号参照)のうち、ナショナル昇格者が13名(A6、B7)、規定の年令(満22才、昭和26年12月31日以前出生の者)に達し自動的に資格を失った者が6名、辞退者2名となり、いぜんジュニアの資格を保有している者が上村(中大)、福井(京都産大)ら8名に減ったためである。

「世界選手権予選」代表の横顔

柳川、兄弟で栄光

◇監督・北川勇喜 日体大助教授
日体大(男)監督、日体大出、38才、昭47全日本コーチ、昭48ユーゴ戦全日本監督(48年度男子ナショナル監督)

◇コーチ・木野実(FP登録) 湧永薬品勤務、立大出、27才、41年9月全日本入り、ミュンヘン五輪代表、昭42第6回、昭45第7回世界選手権代表、昭44欧州遠征、公式国際試合出場41試合(10得点) 41試合連続。1m80、76kg

◇GK・本田洋 大阪イギリス(大阪初芝高教諭)、日体大出、26才、44年2月全日本入り、ミュンヘン五輪代表、昭45第7回世界選手権代表、昭44欧州遠征、公式国際試合出場31試合、179cm、78kg

◇GK・柳川清 大同製鋼、熊本市商出、23才、49年1月全日本入り(47年度全日本ジュニア)、176cm、70kg

◇FP・中井武三 大同製鋼、同志社大出、24才、44年2月全日本入り、ミュンヘン五輪代表、昭45第7回世界選手権代表、昭44欧州遠征、昭44欧州遠征、公式国際試合出場18試合(24得点)、181cm、75kg

◇FP・藤中憲二 大同製鋼、日体大出、26才、44年2月全日本入り、昭45第7回世界選手権代表、昭44欧州遠征、公式国際試合出場2試合(3得点)、180cm、78kg

◇FP・花輪博 大同製鋼、中大出、23才、45年4月全日本入り、177cm、74kg

◇FP・柳川実 大同製鋼、熊本一工高出、20才、49年1月全日本入り(47年度全日本ジュニア)、176cm、70kg 柳川清(GK)の実弟。

◇FP・大江隆夫 三菱レイヨン大竹、芝浦工大出、24才、46年7月全日本入り、公式国際試合出場7試合(5得点)、170cm、67kg

◇FP・夏目真治 中京大4年、豊橋商出、22才、48年8月全日本入り(47年度全日本ジュニア)公式国際試合出場1試合、181cm、73kg

◇FP・菊池悟 早大3年、盛岡一高出、21才、48年8月全日本入り(47年度全日本ジュニア)公式国際試合出場2試合、185cm、84kg

◇FP・村田幸男 法大2年、明星高出、20才、49年1月全日本入り(47年度全日本ジュニア)、175cm、68kg

◇FP・蒲生晴明 中大1年、中大附高出、19才、48年8月全日本入り(47年度全日本ジュニア)、公式国際試合出場2試合(6得点)、192cm、87kg

□……日本協会はテルアビブに全日本を送ったものかどうか悩みつづけた。昨秋11月11日の全国評議員会・同理事会（東京11本誌15号既報）時点では、中東状況がまったく予断を許さないと、派遣問題のいっさいを常務理事へ一任、荒川理事長をはじめ執行部は新聞などの報道をたよりに情勢分析をつづけて来たが明確な判断を下せるものではなかった。そこで世界女子選手権（12月、ユーゴ）に団長として参加する田村会長と、IHF（国際ハンドボール連盟）理事として現地に赴く渡辺副会長に「日本の苦悩」を伝え、IHFサイドでの善処を要請することになった。

□……渡辺副会長の働きかけでIHFは12月12日ベオグラードで緊急常務理事会（非公開）を開いたものの、「テルアビブでアジア予選を行う方針は変えない。ただし、2月8日までの期限として、その時点で中東に戦火が残っている場合、または日本・イスラエル間の外交状態に変化が起きた場合は予選会場地を第三者国に移す」ことを申し合せたとどまった。

いちどは参加辞退決める・日本協会

□……この結果、日本協会は最終決断をせまられることになり、1月12日の月例常務理事会で、改めて田村会長からIHF筋の見解の説明をうけたあと、2時間近い協議を行って「中東戦争は実質的に終結していない。ゲリラ襲撃の危険はぬぐいきれない」の2点から遠征中止・世界選手権棄権を決議、ただちに評議員、理事、IHFへ通達、1月16日に「棄権の公表」を行う手はずをととのえた。

□……ところが、15日深夜（日本時間）、渡辺副会長から連絡をうけたIHF専務理事、M・リンケンパーガー氏（西ドイツ）は、日本側に再検討することを強く要望、16日、日本協会あて「現在、中東は戦争状態ではなく、日本がイスラエルで試合を行わぬ理由はまったくない。参加辞退の場合、大きな罰則を日本協会に科すことになる」と旨の公電が届いた。17日の緊急常務理事会で渡辺副会長は「欧米人のゲリラに対する感覚は日本人とちがう。常に危険はないとみて行動している」と説明、19日緊急全国理事会の招集（1頁）となった。

日本、楽観許さず

ところでこのアジア予選はIHF（国際ハンドボール連盟）の規定では、新春1月15日までに終了しなければならなかったがアジアの東西両極端に位置する国の対戦とあって、特に本大会直前まで期日延期が認められた。

IHF筋はこの対戦を日本有利とみて、そのまま東ドイツへ向かう便宜を日本のために企ててくれたわけなのだが、卒直のところ戦況は楽観を許さない。

なるほど、ミュンヘンオリンピック・アジア予選（46年11月、東京ほか）では、日本はイスラエルを第一戦15-4、第二戦18-7と一方的に破り、ミュンヘンでは10位、その後も金メダリストユーゴを迎え撃つなど、イスラエルをしのぐ国際実績を残しているが、今回は別掲のとおり、ガラリとメンバーを変え、ヨーロッパ遠征の経験者は木野（コーチ兼任）、中井、藤中、GK本田の4人だけ、キャプテンがものをいう国際試合ではハンデになる懸念がある。

乗りこみの不利も重なる。審判はシリリアス、シデアのルーマニア・ベアが担当するが、ヨーロッパの傾向は、微妙なところでホームチームを優位に判定する。

公平、潔べきな日本では考えられぬが、これは事実である。世界

選手権の予選ともなれば、厳正だるうが、昨年のヨーロッパ地域予選でもホームゲームをキープしあつたカードがいくつかあり、ボクシングにたとえるなら、ナックアウトで勝たねばダメ、ということになる。

戦力的にはいせん優位

日本はナックアウトで勝てるだらうか。

イスラエルの戦力は、ミュンヘン予選の時とそう変わっていないのではないかと、そう変わっていない予選を自国へ誘致するため示した執着は、自信あつてのこと、ましてテルアビブの大体育館（八千人収容）で「建国25周年記念事業」の一つに組みこまれた背景を考えれば、その闘志はなみなみならぬものがあるという警戒説がある。

筆者の得ているイスラエルの動向は、昨年オランダと15-13、12-15、スイスと18-20、16-15という記録以外なく、今シーズン（昨秋9月以降）は公式国際試合なし、ヨーロッパカップ（単独チームの選手権）で、チャンピオン・ハポエル・ヘルツリアが1回戦でCF・バルセロナ（スペイン）に16-32、23-29で連敗したことが判っているだけだ。

こうしたスコアをそのままワウミにすることはできないにしても

急速なレベルアップを示しているとは思えない。アジア予選の時、イスラエルのメンバーには3人のティーンエイジャーと24才以下の若手が9人もおり、当然これらの選手が今回の主力となるだろう。日本も、予選で敗退するようではモントリオール出場にマイナスの材料を国内外に露してしまふようなもの。戦力的には充分勝算あり（過去の通算成績・日本5勝1分17人制）と確信するだけに、敵はやはり遠征の不利をいかに克服するかだろう。

「速攻で先制、序盤から優位に立つ」という北川監督の策戦と選手若さにあふれた気力を期待したい。（杉山）

学生界から10選手

全日本

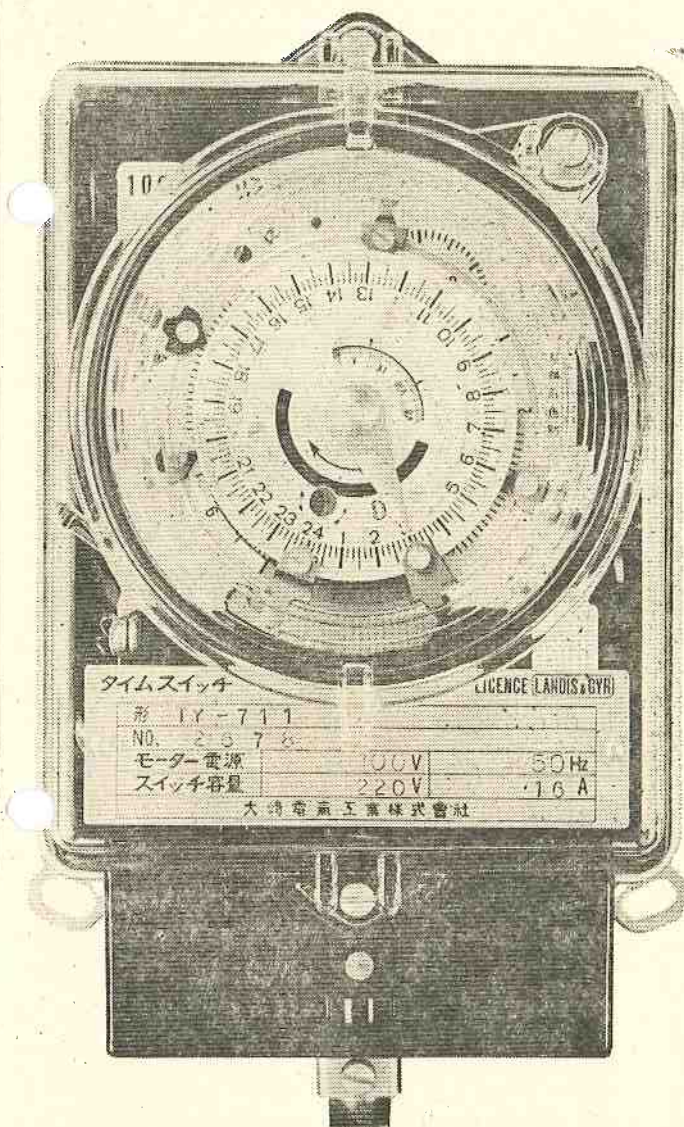
本誌1頁所報のとおり、日本協会は1月19日の緊急全国理事会で48年度男子ナショナルチームを24名としこのうち、次の12名を「全日本B」とすることに決めた。また、アジア予選に勝つた場合、世界選手権代表は新選出せずアジア予選出場者がそのまま乗りこむ。

▽GK 柴田（法大）、斎藤（日体大）▽FP 菅野、斎藤（以上日体大）、津川、穂積（以上大阪経大）、松原（大同製鋼）、田上（本田技研鈴鹿）、柳（法大）、大熊（中大）、脇若（早大）、中村（大阪体大）

Osaki タイムスイッチ

TYシリーズ

24時間では足りないあなたに 1日=72時間



タイムスイッチ

LICENCE (LANDIS & BYRI)

形 TY-711

NO. 2076

モーター電源

100V

50Hz

スイッチ容量

220V

10A

大崎電氣工業株式会社

大崎タイムスイッチならそれが可能です。
毎日、毎週、毎月、定時刻に自動的にスイッチを〈入・切〉するあらゆる設備機器や
年間の日没・日出時刻に応じ、自動的に照明を〈入・切〉する場合に最適です。



大崎電氣工業株式会社

〒141 品川区東五反田2丁目2番7号 TEL.03 (443) 7171番

ブルガリア、アルジェリアなど勝つ 世界男子地域予選

第8回世界男子選手権の各地域予選は、昨年内に、アジア地域を除いてはすべてその日程を終了、代表国が決まった。

ノルウェー敗れる

ヨーロッパ地域(第3報)

注目のヨーロッパ(5地区)

では、各グループとも激戦が続き、実力伯仲とみられた第1群からはアイスランド、第2群からはブルガリアが勝ちあがった。

▽第1群・第2戦のうちアイスランド×イタリア、フランス×イタリアはイタリアが棄権しアイスランド、フランスの不戦勝となった。

【順位】①アイスランド3勝1敗(得失点差27) ②フランス3勝1敗(10) ③イタリア

▽第2群・第2戦

ポーランド 21(15)6 7 オランダ

オランダ 16(9)7 13 スイス

ポーランド 25(13)12 16 スイス

【順位】①ポーランド3勝1分②オランダ③スイス

▽第3群・第1戦つづき

ノルウェー 20(11)7 11 フィンランド

ブルガリア 16(8)1 6 12 ノルウェー

▽同・第2戦

ブルガリア 30(17)13 5 7 フィンランド

ノルウェー 20(10)10 7 10 フィンランド

ノルウェー 17(9)8 1 6 13 ブルガリア

【順位】①ブルガリア3勝1敗(得失点差31) ②ノルウェー3勝1敗(19) ③フィンランド

▽第4群・第1戦つづき

ブルクセン 15(10)5 7 13 ベルギー

デンマーク 24(15)9 5 14 ブルクセン

デンマーク 32(18)14 5 11 ベルギー

ブルクセン 19(8)11 7 9 16 ベルギー

デンマーク 26(15)11 5 11 ブルクセン

【順位】①デンマーク4戦全勝②ブルクセン③ベルギー

▽第5群・第1戦

スペイン 16(10)9 5 10 ポルトガル

オーストリア 15(8)7 4 11 ポルトガル

オーストリア 18(11)7 6 11 17 スペイン

▽同・第2戦

スペイン 14(9)9 7 7 9 ポルトガル

オーストリア 17(10)7 6 13 13 ポルトガル

世界男子地域予選

スペイン 19(10)9 2 2 4 オーストリア

【順位】①スペイン3勝1敗(得失点差15) ②オーストリア3勝1敗(マイナスイス14) ③ポルトガル

アメリカ、辛くも勝つ

アメリカ地域

11月9日から3日間ヴェノスイレスでアメリカ、ブラジル、アルゼンチンの3ヶ国リーグによって行なわれ、アメリカが地元アルゼンチンに辛勝して2勝をマーク、代表となった。3日間で二万をこすファンを集め盛況だった。

アメリカ 19(9)10 6 6 12 ブラジル

アルゼンチン 24(15)9 5 15 ブラジル

アメリカ 19(11)8 11 17 アルゼンチン

アフリカ地域

12月7日から9日までアルジェリアに3ヶ国が参加して開かれ、地元アルジェリアが勝った

チュニジア 40(22)18 7 15 ギニア

アルジェリア 34(18)16 4 3 7 ギニア

アルジェリア 14(9)5 1 6 3 9 チュニジア

近づく世界選手権

栄冠へしのぎ削る東欧勢

第8回世界男子選手権は2月28日から3月10日まで東ドイツのベルリンなど11都市で行われる。

参加するのはミュンヘンオリンピックの上位8ヶ国と、各大陸予選を勝ち進んだ8ヶ国の計16ヶ国競技方式は、4ヶ国ずつ4組の予選リーグのあと各組上位2ヶ国が準決勝リーグ(2組)ベストエイトへ進み、各組同位同士との対戦で1と8位の決まるいつものおりのシステムだ。

各国とも、ミュンヘン後かなりメンバーの入れ替えを行なったと伝えられ、思い切った試合ぶりを見せるだろう。アジア代表(イスラエル×日本の勝者)は東ドイツ、ソビエト、アメリカと同組。日本が出た場合、北川監督は「ソビエト、アメリカから勝利を目指す」といっている。

ベストエイトはルーマニア、スウェーデン、東ドイツ、ソビエト、ユーゴ、ハンガリーと見るのが順当。残る二つはA組だがまったく予断を許さない。わずかにチェコが有利、他の三国の実力はまったく伯仲、特に西ドイツやミュンヘン13位のデンマークの巻き返し成るかは興味深い。アイスランドも軽視はできない。

このほか波乱があるとすればポーランド、ブルガリア、日本の進出である。

準決勝リーグは東欧勢によるさまざまな展開が予想される。

特に東ドイツ、ソビエト、ユーゴのかみあう2組は、目のこえた東ドイツのファンを熱狂させつづけるだろう。

1組ではやはりルーマニア(前回優勝国)か。この4者から、最後の栄冠を握る国を占うのは、星の数をかぞえるにも等しい難しさだ。

前哨戦の3大トーナメント、トビリシ国際ではソビエト、ベルリン国際では東ドイツ、カルパティアカップではルーマニア(いずれも詳報本誌26頁)が優勝しておりユーゴも負傷していたラザレビッチらの戦列復帰で金メダリストの面目にかけて戦うだろう。

ヨーロッパの専門家たちは、ズバリ、東ドイツ×ルーマニア、ユゴ戦の勝者が決勝を争うとみているようだが、そこまでいく間に一波乱、二波乱は必至である。

この大会が終れば、もう来年はモントリオールオリンピックの予選、そしてモントリオールとつづいているのだ。

グローバルなスポーツとして着実な歩みを示すハンドボール界がいっそうその声価を高める史上最高の大会となることは間違いない。

(S)

こうした緊迫した大会では、いかに精神的な優位が影響するかを示した一戦とも云えた。

オランダは大会直前、ギニア（アフリカ代表）が棄権したことから、繰りあげ出場の幸運をつかんだが、ポスト以外に得点源がなく単調なプレーだった。

しかし、後半、日本のディフェンスが少し当りが弱まると、すかさずポイントをおげる。

ヨーロッパ女子の定型ともいえるポストからの突破口をいかに防ぎ止めるかが、日本の今後の躍進の一つのカギだろう。

（井監督談話）

前回の勝者に健闘

第2戦・東ドイツ（前回優勝）

との試合は12月13日午後5時からソッポル市民体育館で行われた。審判L・ケステリ、L・マルキ（ハンガリー）観衆二千六百。

東ドイツ 17 (10-4) 12 日 本

得0042210142300	ツグスフスークーヒス
トル	ホリカンピツタマツ
イペ	ホルエハビツタスリム
ドデ	ハンゲルイレイ
【東】	パブゲミヤヘテラクハボ
【東】	パブゲミヤヘテラクハボ
GK	原田水野原田田居毛野下
【本】	原田水野原田田居毛野下
【日】	小和垂 牧古蔵島鳥三高山
得002003330010	

の転落だった。選手たちも何か気落ちしていたようで、我々はチャンスとみただが、始ってみると、やはり迫力に満ちた攻守で、じわじわと点差を開かれた。しかし、日本もムードがあがり特に後半はすばらしいスピードで東ドイツのディフェンスを切り崩せた。

前半、波にのり切れず、そこをつかれて点差を開かれたのが悔やまれる。観衆も、日本に一方的な声援を送り、選手たちも熱っぽいプレーを展開、敗れたとは云え満足の内容であった。（井監督談話）

序盤に勝負決める速攻

第3戦・西ドイツ（前回5位）

との試合は12月14日ノビサド・スポーツパレスで行われた。

日 本 13 (5-3) 10 西ドイツ

得002020110220	ルエルトストスエトブー
ツ	エジネランブナーツク
ド	ウングスキルケルウラ
【西】	メラウケVクイクネブヤク
GK	原田野原水田野毛下居田
【本】	原田野原水田野毛下居田
【日】	小和牧古垂島鳥三高山蔵
得0022303100002	

特に開始1分攻野に始まり2分4分の米の連続ゲットであげた3点のゴールは、日本のスピードを観衆に強く燃きつけた。

西ドイツはクスターのシュート力を活かすフォーメーションで攻めこんだが、日本のディフェンスの手固い動きに19分間ノーゴール20分ようやく7MTで1点をあげた。

後半、西ドイツは5分5-5のタイに追いついたが、日本も垂水の連取と古佐原で、すぐにリードを奪いなおした。

終盤は、たがいに守りの動きが鈍り、得点しあったが、日本は序盤のリードを活かして逃げ切った（この項、ユーゴ紙、スポルティク・ノーボスティアより）

▽9-12位決定リーグ

東ドイツ 14 (8-1) 5 西ドイツ
西ドイツ 18 (12-1) 3 5 オランダ
東ドイツ 15 (7-1) 8 9 オランダ
西ドイツ 8 (1-2) 2 9 オランダ
【順位】⑨東ドイツ3戦全勝（得46失26）⑩日本2勝1敗（40、38）
⑪西ドイツ1勝2敗（33、32）⑫オランダ3敗（25、48）
次回ハモ モントリオール・オスクワカ リンピックへの出場権（上位5ヶ国）をかける第6回世界女子選手権は、一九七五年（昭50）下半期、モスクワを中心に開かれる公算が強い。

井薫全日本女子監督の話

前回の経験を活かし、トライアルゲームでは、七分程度の力で試合を進める計画も巧く運び、島居和田、高野、山下、蔵田らの初出場組も、ヨーロッパチームの試合運びを覚え、自信をつけての乗りこみだっただけに残念です。

やはり、世界選手権独特のムードに、予選2試合はのまれ、リラックスした気分になったのは9位決定リーグに入ってからでした。特に、東ドイツ戦は、敗れたとは云え存分に力を発揮、この一戦で選手たちも気が晴れた感じですよ。

日本の今後の課題はやはり、相手の体格を利した押しこみをどう防ぐかで、攻撃面ではますますのレベルに到達したと思います。

女子選手の 日本協会は、世界公式試合数 女子選手権終了時点で、女子選手（現役のみ）の公式国際試合出場数などを次のようにまとめた。

垂水、牧野、三毛ら7人の試合数は、これまでの最多、黒川泰恵、宇井敬子（ともに元大崎電気）の15を上まわった。

垂水18試合（通算48得点）、古佐原18（35）、島田18（27）、牧野18（23）、米18（9）、三毛18（5）、小原18（0）GK、蔵田10（26）、島居10（14）、高野10（6）、山下10（3）、和田10（0）GK

トヨタと共に躍進するセントラル

クラウン. コロナ. ピックアップ. ライトバン製作



セントラル自動車株式会社

神奈川県相模原市大山町4番12号

TEL 相模原 (0427) 72-6111 (大代表)

加入電信 2872-205 サガミセントラルSGM

'73

(株)三景は企業の繁栄を通じて
より豊かな生活、
より明るい社会を創造する。

繊維専門商社 株式会社 三景



グループ本部 東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

(株)北越三景 (株)東京三景 (株)甲商三景 (株)大阪甲商三景
(株)サンレディ (株)サンワード (株)サンライン

スポーツの技術史

近代日本のスポーツ技術の歩み

新刊



菊判・656頁・上製函入
定価2500円

東京教育大学教授 岸野雄三 編
東京教育大学助教授 多和健雄

●近代スポーツの歩みを技術史的にとらえた日本における近代スポーツの歩みを、技術史的な視点からたどり、各スポーツ種目ごとの発展の概要をのべたユニークなスポーツ史である。各種スポーツの意味を技術史的に吟味し、それを通じて、人間とスポーツとの文化的な深さを追求したもので、体育・スポーツ関係者の格好の教養書である。

【収録種目】①体操 ②陸上競技 ③競泳
④柔道 ⑤剣道 ⑥レスリング ⑦バスケットボール ⑧ハンドボール ⑨バレーボール
⑩サッカー ⑪ラグビー ⑫野球 ⑬テニス
⑭卓球 ⑮バドミントン

写真と図解による
荒川清美・石井喜八著
よつやく国際的水準に到達したハンドボール競技の普及・向上に骨身を惜しまず尽力されている著者が、長い間の研究成果を独自の撮影技術による豊富な写真により解説した待望の技術書。

A5判一四〇頁 定価五〇〇円

ハンドボール

大修館書店 〒101 東京・神田錦町3-24 振替/東京40504 ④294・2221(大代表)

◎オランダ国際トーナメント

国際舞台で初の優勝

オランダ女子国際トーナメント(3国対抗)は、11月23日から3日間、アーンハイムを主会場に日本、オランダ、ノルウェーの総当たり戦で行われ日本が好調な攻守で2勝、優勝を飾った。

日本が、国際大会で優勝したのは、男子のミュンヘンオリンピックアジア予選(46年11月、東京)、ボインツアカップ(44年6月、ルーマニア)に次いで3度目、女子では初めてのこと。ヨーロッパのナショナルチームを相手にした大会では男女を通じて初めてという「快挙」である。

幸先よし、第1戦飾る

第1戦・オランダとの試合は11月23日午後9時からホーグベン・スポーツホールで行われた。(観衆五百五十)

日 本 16(7-5)10 オランダ

○……日本は前、後半を通してミドル、サイドシュートがよく決まりポストプレー、速攻のコンビネーションも順調だった。

得0004010131000

スプトストラークンシンク

ル ク ト キン

ンダ レッ ス メイテ

ラン ス トリ ュ ト デ

【イ ーン トリル

レカハヘブバスギマスルク

GK {

FP {

本) 田原居田田原下野水野 米

【日和小島島蔵古山高垂牧 三

得0043141001110

前、後半で各2回得た7MTも

確実に決め、スキのない日本の攻

守に観衆は拍手を送り、目を見は

っていた。

これに対しオランダは、前半は

ポストプレーからチャンスをつか

んでいたものの、後半、日本のデ

ィフェンスに巧みにポストをつぶ

されると、動きが鈍くなり、個人技

にたよった単調な攻めに終わった。

日本では古佐原、島田、島居、

オランダではヘンドリックス、マ

ルテンのシャープなプレーが目に

ついた。(藤原)

ノルウェーにも勝つ

第2戦・ノルウェーとの試合は11月24日午後9時30分からアーン

へムのエスカ体育館で行われた。(観衆三百)

日 本 14(8-7)12 ノルウェ

得0000153300000

ルクーンシンク

ー スタセー

ウエウド

ル アベヌレ

【キフツク

GK {

FP {

本) 田原毛田田原居野下 野水

【日和小三島蔵古島高山 牧垂

得0002126300000

○……ノルウェーはベストメンバ

ーで臨み、日本は垂水、牧野、米、

小原らを温存しての対戦。

ノルウェーの攻撃は、常にポス

トの速い動きによる守備陣のかく

らんからチャンスをつかむという

パターンであったが、日本はそれ

にふりまわされず、ロングからの

シュートを誘いこむ策戦をみせ、

みごとにそれが成功した。

日本は攻撃面でも高野、古佐原

の速攻、セットからは島居のミド

ルがよく決まり、無駄のない試合

運びだった。この結果、日本は最

終日のオランダ×ノルウェー戦を

待たず優勝を決めた。(鈴木義男

||全日本コーチ)

▽第3戦(11月25日、ツペロスポ

国際親善試合

▼オランダ・遠征第3戦として11月25日午後1時30分からツペロススポーツホールでニロッククラブと対戦。(観衆五百)

日 本 9(5-5)9 ニロック

引き分け

得00220000100022

クアレーザ

【ニルウイン

GK {

TP {

本) 田原野居野田田 水野下

【日和小古島三島蔵 垂牧山

得0023111100000

○……前夜(ノルウェー戦)の疲

れが充分にとれず、日本の動きは

鈍かった。

一方のニロックは、オランダナ

ショナルよりも、そのままとまりに

おいて強いと云われるほどのクラ

ブで、しかも日本に一あわふかそ

うとする気力も強く、歯ごたえの

ある相手だった。

特に、かつてのナショナルプレ

イヤー・メイヤーの左腕からのロ

Molten

ハンドボール

(日本ハンドボール協会検定球)

(確かさの誕生)



モルテンゴム工業株式会社



第5回 世界女子選手権 記録
(日本関係を除く)

【カット写真はユーゴ対ルーマニアの決勝戦】

東ドイツ(前回優勝)予選で敗退

予選リーグ

◇A組

ハンガリ	12	(8-1)	7	チェコ
チェコ	16	(8-3)	9	西ドイツ
ハンガリ	18	(11-4)	7	西ドイツ

【順位】①ハンガリ②チェコ③西ドイツ

◇D組

ソビエト	8	(5-4)	6	ポーランド
ソビエト	7	(3-1)	4	東ドイツ
ポーランド	11	(6-4)	11	東ドイツ

【順位】①ソビエト②ポーランド(得失点差マイナス2)③東ドイツ(マイナス3)

ユーゴ	20	(19-2)	4	オランダ
デンマー	13	(6-3)	4	オランダ

得点表: GK (ナクコスナナワク, エッシャー, シベセル, ルカトブ, ツマリボス, ツマロソザビ) / FP (ツバゲボヤユカハブヒクテ)

準決勝リーグ

◇1組

ハンガリ	14	(7-1)	3	ノルウェ
ルーマニ	10	(5-4)	8	チェコ
チェコ	12	(7-5)	8	ノルウェ
ルーマニ	12	(7-5)	11	ハンガリ

◇2組

ソビエト	10	(5-3)	10	デンマー
ポーランド	9	(4-4)	8	ユーゴ
デンマー	12	(7-7)	12	ポーランド
ユーゴ	7	(3-2)	5	ソビエト

を揃えて臨んだが、立ちなおりにほど遠い試合ぶり。劣勢とみられていたデンマークがユーゴに冷や汗をかかせた。前半のリードを守るうと消極的になったところを、必死の反撃に転じたユーゴにつかれて惜敗、後半はじめスパーすれば大波乱がおきたらう。

グの記録を適用。
【順位】①ユーゴ2勝1敗②ソビエト1勝1分1敗(得失点差0)③ポーランド1勝1分1敗(マイナス1)④デンマーク2分1敗
○……1組ではかつての優勝国同士ルーマニア×ハンガリがハイライト。ハンガリはバーバラ・トースがいぜん元気なうえステルピンスキーも好調で、チャンスを確認にモノにした。ハンガリの迫力に比べルーマニアはやや線が細い印象をうけたが、後半になるとディフェンスの立ちなおりと、ゾスの好技で点差をつめ10分すぎついに逆転、いかにも「こ一番」に強いところを見せた。

○……最大の波乱は2連勝を狙っていた東ドイツの敗退である。前哨戦の成績もよく、今大会の最有力優勝候補として誰もが疑わなかったのだが、ソビエトのすばらしい気力が前半の先制に突り、特にツルシーナのスピードにあふれた攻撃は圧巻だった。
しかし、この段階でもまだ栄冠の望みは残っていたのだが、最終戦ポーランドの健闘にあい、終盤追いこんだもののついに追い抜かず大番狂わせとなった。ソビエト戦の激闘で主力を負傷させた不運もあったが、ここはポーランドの善戦を賞したい。
○……A、D組は順当。女子ハンドボールの祖国・西ドイツは若手

ユーゴ、後半「優勝」へ一気

優勝戦

ユーゴ全土が興奮のつぼと化した決勝・ユーゴ×ルーマニアの試合は、八千近い大観衆を集めたベオグラードスポーツホールで12月15日午後6時45分から行われたユーゴ 16 (7-7) 11 ルーマニア

得点	0	0	2	0	4	0	0	3	1	1
【クネニス】	ク	ゼ	ル	ス	バ	イ	ク	イ	イ	ル
【マネ】	マ	ネ	ギ	ロ	リ	ル	ヨ	リ	ナ	ア
【オ】	オ	ル	ト	リ	ル	ヨ	リ	ナ	ア	オ
【イ】	イ	モ	ア	ソ	ポ	ベ	フ	フ	イ	コ
【オ】	オ	ル	ト	リ	ル	ヨ	リ	ナ	ア	オ
【チ】	チ	ク	チ	ス	イ	チ	エ	チ	ス	サ
【ゴ】	ゴ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ
【ウ】	ウ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ
【パ】	パ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ	ビ	ッ
【ユ】	ユ	キ	ラ	レ	リ	リ	ノ	テ	ノ	ベ
【ス】	ス	キ	ラ	レ	リ	リ	ノ	テ	ノ	ベ
【ト】	ト	キ	ラ	レ	リ	リ	ノ	テ	ノ	ベ
【イ】	イ	ル	ア	イ	ト	ス	ア	ベ	チ	パ
【オ】	オ	ル	ア	イ	ト	ス	ア	ベ	チ	パ
【イ】	イ	ル	ア	イ	ト	ス	ア	ベ	チ	パ
【オ】	オ	ル	ア	イ	ト	ス	ア	ベ	チ	パ
【イ】	イ	ル	ア	イ	ト	ス	ア	ベ	チ	パ
【オ】	オ	ル	ア	イ	ト	ス	ア	ベ	チ	パ

観衆は興奮によりしれた。ユーゴは主力のパレザノビッチがソビエト戦で負傷、この大事な試合に出られず苦戦を強いられたユーゴは巧く先制点をあげたが、ルーマニアも粘り、特に3-5から4-5、5-5としたあとはまったくの互角、場内は沸き

ばなしだった。後半になると、ユーゴは、一気にスパードし、たてつづけに4ゴール、11-7としたのが大きかった。さしものルーマニアも、このダメージは大きく、それでも必死の反撃を試みたが、ユーゴのベテランGKイストバノビッチと出足のよいディフェンスに要所をおさえられて、涙をのんだ。

……ユーゴはこの大会悪戦苦闘で、しかも決勝は大駒一枚を欠いていただけに、「よく勝った」という印象が濃い。連日詰めかけた地元ファンの大歓声が大きな力になった、といえる。

男子の金メダル(ミュンヘンオリンピック)と並ぶ優勝、一九六〇年代に入ってすぐルーマニアが世界選手権で男女制覇して以来の快挙で、文字どおり「ハンドボール王国」となった。

ルーマニアも健闘したが、つねにユーゴに先手を許したのが、敗因。

順位(3-8位)決定戦

得点	0	0	3	2	0	1	1	1	1	5
【ポーランド】	ポ	ラ	ン	ド	ト	カ	セ	ス	ワ	グ
【ボエ】	ボ	エ	イ	ツ	ト	ス	ベ	コ	シ	イ
【ピ】	ピ	ボ	ド	ク	ビ	コ	ボ	グ	ザ	リ
【ポ】	ポ	ラ	ン	ド	ト	カ	セ	ス	ワ	グ
【ロ】	ロ	ラ	ン	ド	ト	カ	セ	ス	ワ	グ
【ト】	ト	ラ	ン	ド	ト	カ	セ	ス	ワ	グ
【カ】	カ	セ	ス	ワ	グ	ウ	ク	ウ	ク	ウ
【セ】	セ	ス	ワ	グ	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク
【ス】	ス	ワ	グ	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ
【ワ】	ワ	グ	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク
【グ】	グ	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ
【ウ】	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク
【ク】	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ
【ウ】	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク
【ク】	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ
【ウ】	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク
【ク】	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ	ク	ウ

5・6位決定戦は12月15日午前10時からベオグラード・スポーツホールで行われた。(観衆千五百)

健闘のポーランド5位に

得点	0	2	7	7	0	0	0	1	1	1
【ソルセ】	ソ	ル	セ	ル	カ	ト	ノ	ハ	ロ	ス
【ビエ】	ビ	エ	シ	ベ	セ	ロ	ス	カ	ヤ	バ
【ユク】	ユ	ク	コ	ク	ワ	ク	ワ	ワ	ナ	ス
【ナク】	ナ	ク	コ	ク	ワ	ク	ワ	ワ	ナ	ス
【ウツ】	ウ	ツ	マ	リ	ビ	ザ	ミ	ゴ	ボ	ロ
【ルカ】	ル	カ	ト	ノ	ハ	ロ	ス	カ	ヤ	バ
【ルカ】	ル	カ	ト	ノ	ハ	ロ	ス	カ	ヤ	バ
【ルカ】	ル	カ	ト	ノ	ハ	ロ	ス	カ	ヤ	バ
【ルカ】	ル	カ	ト	ノ	ハ	ロ	ス	カ	ヤ	バ
【ルカ】	ル	カ	ト	ノ	ハ	ロ	ス	カ	ヤ	バ

7・8位決定戦は12月15日午後5時30分からベオグラード・スポーツホールで行われた。

北欧勢が7、8位

得点	0	0	4	3	0	1	1	1	0	0
【ノルウェ】	ノ	ル	ウ	エ	ス	ト	ル	ン	ス	ゲ
【ウエ】	ウ	エ	ス	ト	ル	ン	ス	ゲ	ル	ン
【ド】	ド	セ	ス	ル	ン	ス	ゲ	ル	ン	ス
【ベス】	ベ	ス	レ	ラ	ク	ア	ア	ク	ハ	バ
【ツク】	ツ	ク	ブ	フ	ク	ア	ア	ク	ハ	バ
【ク】	ク	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ
【セ】	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン
【ン】	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ
【ン】	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ
【ン】	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ
【ン】	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ
【ン】	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ
【ン】	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ
【ン】	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ
【ン】	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ	ン	セ

デンマーク 12 (8-5) 10 ノルウェ

インド、積極的な意気込み

日本協会が非公式に得た情報によると、今回の世界女子選手権を前に、インドが出場意思を示し、IHF(国際ハンドボール連盟)へ打診したことが判った。

もちろん、インドはIHFにまだ加盟を認められていず、問題とならなかったが、渡辺和美IHF理事(日本協会副会長)の話によれば、すでに加盟申請も出されておられ、その意気込みは今後のアジアハンドボール界のなかで見逃せぬものとなりそうである。

関東一円をネットする…ワイドサービスチェーン

医薬品全般
高級化粧品

健康から未来をひらく

株式会社 日進商会

NSC

日進チェーン 本部 横浜

第14回 I H F 審判研修会 報告

安藤 純光

(日本協会審判部長)

I H F 主催第一四回国際審判員研修会は、昨一九七三年十月八日から一二日まで五日間にわたってブルガリアのブルガスにおいて開催された。

今回の研修会には日本から佐野和夫、安藤の二名が参加した。両名の参加に際して、全国の関係諸氏から物心両面にわたって多大のご支援をいただいたことについて、本誌上をかりて厚くお礼を申しあげる。

以下今回の研修会について、日程にしたがって報告する。

◇会場の環境

ブルガリアの首都ソフィアからさらに一時間はど飛んだところにブルガス空港がある。会場は空港から三五km、静かな田園地帯を走った黒海沿岸の海水浴場の砂浜に接した一九階建てのホテル「ブルガス」であった。このホテルが宿舎であり、会議場であった。海水浴場とは云っても、日本とはほとんど変らない気候のブルガスです。すでにシーズンオフであり、わず

かな海水浴客がいるだけで、全く静かなオフシーズンの海水浴場であった。

審判技術の実技研修は、このホテルからバスで五分ほどのところにある戸外のハンドボール競技場(三面(スタンド付き)のうち二面)を使用して行なわれた。

◇研修会参加者

I H F 加盟国のうち二二ヶ国から、審判部長と二人の審判員というフォーマルな形での参加、日本のように二名での参加、そしてわずかではあったが一名での参加国もあった。出席者は総数約百名であった。この研修会を開催するI H F からは、R・S・K (Regel und Schiedsrichter Kommission) から委員長とある Emil Horle、Axel Ahm, Marijan Flander, Janis Grinbergas, Vilnius, Jean-Pierre Lecoqそして技術委員会からレーマニアの Kunst, ドイツの Vick が出席した。

◇研修会の日程

▽第一日

九時……組織委員長 Penko Apostolov およびブルガリアハンドボール協会会長 Petko Stewand 両氏の歓迎のあいさつがあった。ついで Emil Horle 氏の開会のあいさつと参加国および参加者全員の紹介があった。

一〇時……Emil Horle 氏により「ハンドボール競技における退廃的な不安の兆候」と題する講演があった(要旨後述)

一四時……実技研修。A・Bの二面の競技場を使用して、割当てられた審判員がハーフ(三十分)ずつを担当し、これを二人の観察員(各国審判部長クラス)がメモを手記観察している。さらにAコートには Emil Horle, Jean-Pierre Lecoq, Bコートには Marijan Flander, Axel Ahm が各審判員の判定や態度について観察し、メモをとっていた。競技はブルガリアの一線級の男子二二チームによって行なわれた。

一八時三〇分……I H F のルールに関する16mmフィルム(日本にもある)を見る。

▽第二日
九時……前日行なわれた実技研修における各審判員に対する分析と批評が各観察員から詳細に行なわれた。

一〇時三〇分……一九七三年I H F ハンドブックにおける改正点について説明が行なわれた。

一四時……実技研修。前日同様に実施された。

一八時三〇分……実技研修を含めて審判上の問題点について Emil Horle 氏はかによって講演が行なわれた。

▽第三日
九時……前日行なわれた実技研修における客審判員の分析と批評

一〇時三〇分……国際審判員の資格について Marijan Flander 氏の講演が行なわれた。

一四時……実技研修。われわれはBコートの第一試合の前半を割当てられ、「参加して笛を吹く」という今回の目的の一つを果すことができた。終って観察員諸氏から Sekr Gut の声ありはっとする。

一八時三〇分……ルールの改正点について説明が行なわれた。

▽第四日
九時……実技研修。
一四時……「四五秒ルール」のデモンストレーション(後述)

▽第五日
九時三〇分……バスに乗って黒海沿岸を観光
二〇時……研修会閉会のパーティが行なわれ二三時散会、すべての行事を終了した。

る講演の要旨。
——今日のハンドボール競技には是非とも取り除かなければならぬような性格がある。その一つは「消極的なブレイ」であり、そしてその双児の兄弟とも云うべき「時間かせぎのブレイ」である。この「消極的なブレイ」や「時間かせぎのブレイ」が、いつハンドボール界に入って来たかは問題ではないが、これらはハンドボールがつづく限り存在しつづけるであろう。そして残念ながら年々ともにもずるがしこくなつたし、さらに巧妙さを加えていくであろう。とともに、それらを認識し判定することがむずかしくなり、ハンドボールの発展のためには、ますます危険なものになるであろう。これらはパスの数による結論を出すことはできない。同じ方向へのパスのくりかえしも、攻撃に要する時間も判定の材料にはならない。ただ競技場で展開されているブレイだけを観察することによって判断しなければならぬ。チームのコーチは、すでに久しい以前から自分たちのチームに「ボールをキープする」とか「シュートをするな」とは叫ばなくなっている。ほとんどすべてのチームは、それに対して一つの合言葉をもっていて、それは当然審判員にはわからないようにされている。審判員は「消極的なブレイ」や

「時間かせぎのブレイ」を中止させる笛を吹いたあとで、自分は思いちがいをしていたかと一〇〇%確実に主張することができるとは非常にまれである。そしてこの不確実さが審判員に大きな影響をおよぼすことになる。そのことから消極的なブレイは今まで通用した。

消極的なブレイに対して一回目の反則がとられたあと二回目の判定はなかなかとられないし、さらに三回目の判定がとくまれにしかとられていないことを利用した。審判員が消極的なブレイに対して二分間の退場で罰したり、また五分間の退場で罰したりすることはまれであり、非常にむずかしかった。そこで審判員たちは最初の判定とせいで二度目の判定で消極的な競技をほおっておいたのである。

「消極的なブレイ」や「時間かせぎのブレイ」は、多くの悪い面をもっている。そのうちでもスポーツの敢闘精神に対する裏ざりであり、専門的な立場ではハンドボール思想への矛盾である。このことは久しい以前から確認されていることであり、是非とも除去しなければならぬことである。

「消極的なブレイ」と「時間かせぎのブレイ」は次のようなときに生じる。そしてこれらは単独では起らない。

(A) 競技時間が残り少なくなつて、チームが一点か二点リードしているとき。

(B) チームが肉体的にスピードを欠いているとき。

(C) チームが大差で敗れたいと望んでいるとき。

(D) チームが小人数(退場などで)で競技しているとき。

このように生じるのは、われわれ審判員、ブレイヤー、コーチ、そして専門家たちに責任がないとはいえない。観客は「消極的なブレイ」や「時間かせぎのブレイ」に対して、かならずかん高い口笛を吹いて反応した。このような場合に、これを救済するのはとりわけ審判員の義務である。これらの行為はスポーツマンシップに反する行為として見なさなければならぬし、それ故に罰せられなければならない。すべてのケースについて厳格な処分をもうけることは、むずかしいことである。

これを正しく読みとり、判定するのはその競技の中立の人、審判員より現場により近くにいる人はいないからである。

一つの試みとしてソビエットに於て四五秒ルールが実施されて一年を経過している。

◇「四五秒ルール」について
このルールの提案国はソビエットである。研修会の第四日にこの

ルールの実際が公開された。

概略バスケットボールにおける三〇秒ルールに似たものである。ゴールの後方に黄色と赤色のランプを用意して、攻撃の時間が四五秒になると赤色のランプが点灯し、反対側のチームにボールが移るのである。実際には、この赤ランプによってボールの所風が変ること

は一競技中二〜三回であった。このルールがハンドボール競技のルールとして登場してくるためには研究、改善が必要であるように思う。最後に今回の研修会に参加して感じた二、三の点を述べて、この報告文を閉じたいと思う。

◇ルールの違いがあったか。
この質問は帰国してから何回となく問いかかれた質問であったが、一口にして云うなら「全く違った点はなかった」と云うことである。この研修会は新しいルールをつくる会議ではないし、現行のルールによって各審判員が競技を如何に審判するかといういわゆる笛の吹き方の研修をするための集りであった。笛の差を強いて求めれば「チャージング」の判定に若干の差があるように思われた。

◇IHF・R・S・K. における審判上の問題点
Enri Horie 氏講演にもあるように、いわゆるストリーキングの問題とラフブレイの問題が大きくとりあげられている。これらはハン

ドボールをハンドボールらしく発展させるために、あくまで抑制されるべきものである。日本における研修会においても常に問題点になっている。

◇日本の審判員が世界選手権大会やオリンピック大会に審判員として参加することができるかどうか
今回二名が参加することになったのは、このことを実現させるための一つの方法であった。日本の審判員の笛を見せることによってこのことの実現を早めようという意図があった。日本の地理的な宿命は、ここでも大きなハンディキヤップである。しかしこれは万難を排して近い将来に実現させなければならぬことである。

◇研修会のあり方について
研修会そのもののあり方は、日本におけるものと同様であるが、実技研修が十分に組みこまれていない点は、ともすると座学の多くなっているわれわれの研修会は大いに反省し、参考にしなければならぬところである。(了)

審判、コーチの講習会
IHF(国際ハンドボール連盟)は、このほど、今年内にコーチ(トレーナー)、レフリーの「国際シンポジウム」を開く計画を明らかにした。

時日、会場など詳細は未定である。

《本格派》

デサント
スポーツ服装

●ハンドボール ●ベースボール
●ゴルフ ●スイミング ●スキー

純競技仕様

=すぐれた機能は美しい=

デサント製品はすべて本格派の名にはじない「純競技仕様」……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

THE BEST
for typical sportsmen

original by

DESCENTE

スポーツ服装専門メーカー
株式会社 デサント

合織糸・合織混紡糸



田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17
TEL 0593-65-2156(代表)
郵便番号 512

5年前の秋、東京都ハンドボール選手権が駒沢屋内競技場で開かれた時、新しい試みとして男子は一般(大学、実業団)とクラブに分かれて競うことになった。この反響は大きく初めに企画ながらクラブの部には13チームが参加、トーナメントに於て戦った。これがキッカケとなり一九七一年に東京都協会のお力添えの許に「都クラブ連盟」が誕生した。当時の加盟チーム数は男子十一、女子チームで、会長に外山准二氏、理事長に星野賢浩氏と、球界の大先輩をわずらわし今年4年目を迎えるうとするに至っております。此の間、チーム数は男子が二十一に伸び、役員も新旧交替、理事長に小生が推されたほか各クラブ代表者が理事の任に当たるようになりました。東京におけるクラブ連盟の歴史はわずか三年であります。クラブチームは相当地前から存在し、慶応(三田ク)、早稲田(稲門ク)などはすでに戦前からの伝統を誇りこのほか十五、六年の歴史をもつクラブチームが数多くありました。これらのクラブは都民大会、都選手権大会等に出場して活躍をする一方、クラブ同志の交流試合を行ない、徐々に社会人、中学、高校、大学のOB、同好会等のチームができ、連盟を組織するまでのかたまりになったもので、今後ますます大世帯になりそ

うです。都クラブ連盟としての行事は、春に行なう関東クラブ選手権都予選と、六月から十月にかけて行なうクラブリーグ戦の二つが主なものです。そのレベルは関東選手権で女子が二連勝(47年II小平OG、48年II東花ク)を遂げて

理事長登壇 ⑫

東京都クラブ連盟理事長

村田 稔



いるのに対し男子は47年の二位(松門会)が最高。加盟数とは逆に圧倒的に女子が優勢であり、ウーマンリブの風が吹きまくっていると云えます。ところが最近の日本ハンドボール界は内外の動きともなかなか活発ですが、やはりハンドボール競技の大衆化を真剣に

考えねばならないと考えます。ハンドボールの技の高度化はめざましく、私が親しんだ頃とは、天と地の違いがある。トップと底辺の技術差は開くばかりです。その意味で団体や地方大会(都民大会)等における競技で実業団及大学チームとクラブチームを混合して組合せをつくり試合を行なうことに對して納得がいけない。クラブチームはメンバーそれぞれ職場も異なり、環境、時間、経済的にも恵まれていない。ごく少数のクラブを除いては、どのクラブも「ハンドボールを楽しむこと」をモットーにしており、競技力のみを追い求めている。後者ももちろん大切だが私はハンドボールが大衆化するためには「クラブ」の活動こそ不可欠だと信ずる。そうしたクラブがなにかの大会に登場した場合で技術練習に重点がおかれ基礎技術、体力の遅れから事故につながる発生も心配されます。

また、ハンドボール関係者は底辺拡大を叫びながらとすれば、高校以上に目をやりますが、中学球界の拡充をた果すことこそ大事なことではないかと思えます。現在クラブの主体となつているのは高校OBチームですが、これらの選手が高校に入ったときは

素人の集まりであり、さらに高校選手の内大学進学等で残る者は非常に少なくなり、しかも技術的に三年間のものしかありません。この様な流れがクラブチームの低調につながるわけでもし中学OBを単位としたクラブが増えるようになればクラブ界も様相を変えてくるでしょう。

頂点に立つチームの戦いがハンドボール技術の発展に寄与する活動なら、クラブのそれは「市民活動」であると考えます。

だからといってクラブが、精神のみを強調して試合、競技力を軽視してよいものではありません。来る試合のために、少しでも欠点を補い、ハンドボールの醍醐味に触れられるようなゲームを行なう努力は必要です。しかし、クラブにとって、このことは、現在の条件下では難しく現時点では、やはり「楽しむ」ことを連盟の一貫とした方針に掲げているわけです。学窓を去つたかつての選手たちにもう一度ハンドボールへ足向けさせる努力と一人でも多いハンドボール競技者を産む努力も我々「クラブ関係者」はしなければいけない。強化一辺倒からはなれたクラブとクラブ連盟にして、それは初めて成し遂げる事業であることを私は信じているし、すべての面で理解を日本ハンドボール界が示されるよう望むものです。

省力化に貢献する

工業ファスナーのコンサルタント



株式会社

大山商会

大阪市浪速区元町2丁目108番地 電話(大阪)06-632-2241(代表)

大同製鋼、4大タイトルを独占男子

大同製鋼(愛知)が男子史上初の4大トーナメント優勝の偉業を遂げた。日本ビクター(茨城)が2年ぶりに女王の座へ返り咲いた——今年度の国内チャンピオンチームを決める第25回全日本総合選手権は昨年12月12日から16日まで東京体育館(開会式は11日・体協)に選抜された男子16、女子12チームが参加、予選トーナメント、決勝リーグ方式によって覇を競った。(観衆=第1日800、第2日600、第3日1000、第4日1400、第5日2600)

全日本総合 女子は日本ビクターに栄冠(2度目)

法大、三春台クに苦しむ

男子
女子

▽予選トーナメント1回戦

湧永薬品 (日本協) 34 (1816 | 117) 16
推大(大阪) 隊第3(自) 推子(京)

大崎電氣 (日本協) 19 (910 | 85) 13
推大(大阪) 隊第3(自) 推子(京)

大同製鋼 (実推) 41 (2120 | 118) 19
推大(大阪) 隊第3(自) 推子(京)

法政大 (学推) 14 (8 | 7) 13
推大(大阪) 隊第3(自) 推子(京)

本田技研 (実推) 17 (512 | 67) 13
推大(大阪) 隊第3(自) 推子(京)

グルス (学推) 19 (109 | 68) 14
推大(大阪) 隊第3(自) 推子(京)

中央大 (学推) 31 (1813 | 93) 12
推大(大阪) 隊第3(自) 推子(京)

三景 (実推) 27 (1314 | 79) 16
推大(大阪) 隊第3(自) 推子(京)

日体大1回戦で姿消す

○……Aコートでは学生チャンピオンの法大が冷や汗びっしょりの

試合をした。法大は前半26分やとの思いで7-5と優位に立ち、主導権を握るキッカケをつかんだかに見えたが、得意の組織プレーがまったく不調で、後半6分8-9と逆転された。

三春台クは、法大の単調な攻めをGK井上の堅守で阻んで、じっくりと攻め立ててポイントをおける巧妙な試合運びだった。

法大は10分をすぎてから動きがさらに悪くなり、1点差(11-12)のまま、15分間無得点という貧攻、三春台クは22分尾島のゲットで13-11とし、法大ベンチは憂色濃かった。

しかし、残り5分となって学生1クラブの体力差が出た。26分并手26分20秒柳で13-13とした法大はタイムアップ25秒前并手が辛くも決勝点をあげた。法大のもたつきがあったにせよ、三春台クの健闘は賞してよい。

○……大崎×中京も見応えがあった。前半20分すぎまで互角の戦況から、大崎は25分7MT(荒井)で初めて3点差をつけ、そのあと飯田、前淵がたたみかけた。このあたりの試合運びはさすがにベテラン揃いだ。

後半、余力を残す中京の反撃に期待がもたれたが、6分までに2本の7MTをとられ7点のリード

を奪われたのは痛かった。このあと夏目、佐藤らで大崎の攻撃をしのぐ場面もしばしばあっただけによけいである。

○……湧永×海上自衛隊は海上の試合ぶりに注目が集ったが、立ちあがり5分0-4と先行されてしまい、そのままのペース。三浦、平野、横山らが散発的に得点を返したにとどまった。大同×東京教員は前半15分までどうにか東京がもちこたえていたが、それ以後は大回りのスピード、パワー攻撃で一方的な展開となった。

○……Bコートでは1回戦屈指の好カードとみられた本田×日体大が期待はずれの凡戦。先手は日体大がとったが、本田は長谷川が要所で好シュートを決め優位に立ち、21分7-6のあとは、学生のお株を奪う気力にあふれた速攻で相手ゴールを襲い一気に5点差をつけた。

日体は後半4分1点を返したがすぐに2点を奪われるなど雑な試合ぶりで、本田のまとまりに屈した。日体大(レギュラー)が全国的なトーナメントの1回戦で姿を消したのは、昭和12年創部以来初めてのことでないだろうか。

○……三景×大崎が大阪イーグルスに食い下った。先行する大阪を追う三景は22分6-6から岩本のゲットで初めてリード、しかし大阪は残り2分で高橋が7MTと速

攻を決めて再び逆転した。ベテランを揃えた大阪はこの優位を後半開始直後に持ちこんで120秒福井、2分安達で11-8、三景も6分に1点差と詰めたが、そのあとの好機を相手GK木田の冷静なプレーに捌かれて10分間無得点、この間に2点を許したのが結果的には勝負をも色分けた。敗れたとはいえ三景の成長がうかがえた一戦である。

○……慈星同士・三景×スワローはスワローが思いのほかプレーにまとまりがなく前半15分7-2と三景がリード、スワローは20分6-8と迫ったのがせいっぱい、あとは佐々木、高梨を主力とする三景の多彩な攻撃に押しまくられた。

中大×京都クは中大が立ちあがりから20分までに連続11ゴール、あっさり勝負を決めてしまった。

湧永、本田守備陣を突く
イーグルス、大崎降す

▽同2回戦(決勝リーグ進出チーム決定戦)
湧永薬品 19 (514 | 7) 12 本田技研
鈴鹿 (学推) 19 (1813 | 93) 12

○……優勝争いにひびく一戦。五分の立ちあがりから湧永は16分木野、17分7MT(高橋)で8-4としたのが大きかった。その前、本田は2-1-6の劣勢から2点を返し波にのりかけたところである。

全日本実業団(7月)で16-14

クシデントも、交代した柳川弟がすばらしいデキでその穴を埋め完勝した。(根城)

湧永薬品 20(8-7)10 法 大

得0000031200004
大田田川本手島滝田村井島山
【法】柴森 長橋井川上村川荒矢青
GK 永井 原野 橋田中 井井山
FP 湧今 市木 高戸田 松藤大
得0 21364440000
20(4) 7MT(2) 10

○……立ちあがり1-1のあと湧永守備陣のカットプレーがさえ、常に2点連取しては法大が1点というペースで進展、湧永の完勝かみえたが、法大は20分すぎから青山のサイドシュートと村田の絶妙な配球で反撃、1点差に詰め後半に興味をつないだ。

波にのった法大は後半3分青山のゲットで8-8と追いつき互角の戦況となった。

しかし、法大はこのあとの7MTを失敗したことから、湧永に再び活気もどおり、11分9-9から高橋、木野、田中、森らが一気に5点を連取、大勢が決まった。

法大は、11分以後1点だけでは勝利はとも望めなかったがここらあたりが、力の差、といえるのかも知れない。湧永のきれいなゲーム運びは好印象を残した。

(森 恭一)



大同製鋼(攻)×大阪イーグルス。大同・加藤のダイビングショット (撮影・山田真市)

シュート力に例をとって、も倒れこみ、スタンディング、ジャンプという大同の多彩さに対し、法大は柳に偏る単調な攻撃に終始、大同ディフェンスを破れなかった。実業団界と学生界の格差と云ってしまえばそれまでであるが、法大をはじめ学生チームは今後シュート力

大同製鋼 30(1416-103)13 法 大

得0081022200000
大田田川本島田滝山手井村
【法】柴森 長橋川村上青井荒川
GK 同 兄谷中井弟原藤村田谷田山
FP 大川倉藤中柳松加北守更野桐
得0074751000060

○……60分間を通じて終始衰えることなき大同の攻防はあらゆる面で法大を上廻り、圧倒の強味を示した。

向上と攻防の厚味を増した目標をとるべきであろう。

特に法大の場合、村田という秀れたゲームメーカーが居るだけに、決定的な力をもつゲッターが居れば、いっそうチーム力はアップするであろう。(光島磯雄)

湧永薬品 16(106-8) 大阪イーグルス

○……ベテランが多くしかも両チームとも相手の手の内を充分に知りつくしているということで、スローペースでゲームは進んだ。イーグルスは当りの弱い湧永ディフ

得0021012200000
阪田川井達橋本崎羽田塚岡
【本】本広早福安高池河足市樫北

永井 橋田中原野 井井山
FP 湧今 高戸市木 藤松大
得0 61131140000

まく破り14分4-0とリードしたが、湧永も木野・田中らのシュートで反撃、ハーフタイム直前6-6の同点に追いついた。ペースを取り戻した湧永は後半開始直後高橋のシュートで逆転、木野が得意のミドルシュートを決めて徐々にリードを奪っていった。

イーグルスは、後半10分あたりから疲れがのぞき、相手GK今井の好守にもあって結局後半は河原崎が6、25分にあげた得点だけで押し切られた。(根城)

大阪イーグルス 21(1011-8)15 法 大

得0014412100002
大田田川島手滝川本井村山
【法】柴森 村川井上長橋荒川青
GK 阪 田川井橋本達崎川田羽塚村
FP 大木広福高池安原早市足樫木
得0075321300000

○……優勝の望みを失ったとはいえ教職員、学生のチャンピオン同士。注目の対戦だったが、守りの差がいきなりあらわれ、イーグル

ジャパン・カップ実施を

機関誌を誌巻限り、日本ハンドボールリーグの実現はとろぶん望めそうになく、わずかに実連が、サキネット化を果たした程度に終わりそうである。

そこで、実連、学連、教職員連、自衛隊連の首脳陣に提案したい。日本協会にさきかけて、4者の話し合いによって、各選手権の優勝チームによる2回総取り戦を行ないか。スターズのようなもので、ジャパシ、ジャパズでもよい。ヨーロップヨーロップ

明日への提言

「ヨーロップ」という名称が日本では新鮮な響きがあると思う。

全日本総合の勝者と、このカップの勝者とどちらが権威があるか、といった世論がわいてきたらしめたものだ。日本協会も、日本リーグ発足へ踏み切ることになると思うからだ。

四組織関係者の研究と努力を切望する「東京・磯部 晃 27才、会社員」

スは15分6-1と大差。途中、法大は6-8(22分)、11-13(後半10分)と2度ほど反撃の氣勢を示したが後続なく、味気ない試合で終ってしまった。

イーグルスはクラブチームにはめずらしく、つねに最上位の成績を目標とした覇気のあるチーム、練習量にも制約があり、それだけに一つ一つのプレーにムダを許さぬ訓練が行き届いている。

3週前の全日本学生優勝で一息

優勝メダルの裏側

「……またこんなに持って帰るのかぁ、並べられた優勝賞品を眺めながら若手選手がうんざりしたような声を出した。なんともせいたくな話である。」

もともと強気揃いのチームだ。今年はずいぶん初めから自信満々慎重な中浜大輔監督までが「4冠王を狙ってます」と豪語していたほど。公約どおりの快勝だった。

「……一昨年あたりから直線的でダイナミックなスピード攻撃がチームカラーとして定着、そこへ今年は積極的な欧州型のディフェンスを全員が身につけた。鬼に金棒である。」

ついてしまったような法大は、気力でもイーグルスに負けていたような感じだ。(杉山)

大同いきなり10ゴール

大同製鋼 21(12-14)13 湧永薬品

「……大同の中浜監督は、四冠王をかけた試合を前に緊張気味の選手たちに「フアイトを燃やし、各自が持ち味を生かした、ネバリ強いゲームをしる」とハッパをかけ

率をあげるため一つのシュート一つのパスに「心」を注いだのが、この強さに実った、と中浜監督は云う。

「……11年前、社内の同好者を集め、名古屋港の一角で細々とあげた座ぶ声。それが今は「優勝」に刷れた若手のはしゃいだ声に、成長している。「大同時代」はしっかりとした足どりで幕が開けられたといえるだろう。」

「……留守番優勝」であった。連攻の主役・高野が世界選手権へ旅立つ時、見送りに来た選手たちは「全日本総合はまかしとい……」と口々に云っていたものだ。監督の池田鉄哉氏も見学のため同じ飛行機で日本を飛んだ。

「……順調に勝ち進むこのチーム

優勝メダルの裏側

「日立橋木の快進撃阻止」に、大会終盤もう一つ留守番の役目がまわってきた。

「……初出場のチームに優勝をさらわれてはかなわない。他のチームの分もふくめて姉さんチームの実力を見せなくては」とばかり一気の先制攻撃で快勝。

「約束を果たせたわ」と喜ぶ選手たちをねぎらうのは峰岸正之監督。

これに対し、湧永は大同の猛攻にドギモを抜かれたような感じ。森、高橋を走らせ、大同DFにゆさぶりをかけようとするが闘志不足。中井、花輪の相手の動きをよくみたマークに手も足もでない。関将・木野の「元氣を出せ」の再三の掛け声に、やっと態勢を立て直す、21分に三十一歳のベテラン市原のシュートで1点を返した。

その後も高橋の7メートルスロー、市原の連続シュートなどで3点をあげ、一時は追いあげ態勢を作りかけたが、後半、前半5得点を奪われた藤中をストップしようとして、マンツーマン・マークしたのが悪く、ポストが空いてまたも大同の加点を許してしまった。

四冠王にかけた大同の立ちあがりの闘志が、勝敗を分けたともいえる一戦であった。(大同拓哉・読売新聞社運動部)

得点	0
永井	1133302000
田野	133302000
原橋	3302000
中井	3302000
山井	3302000
菅	3302000
大松	3302000
審判	佐野 岡前
GK	兄谷井輪中藤原田弟村田谷
FW	大柳倉中花藤加松野柳北守更
DF	0033351521100

21(2)7MT(1)13

ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球



三カド商会

東京・豊島・巢鴨・7丁目1696
TEL(941)2635・6592

日立旋風、東京重機(優勝)巻きこむ

女子

▽予選トーナメント1回戦

東京重機 17(11-5)5
 日本協 推・東協 兵庫(学推)

田村紡 14(7-4)8
 (実推・三重) 日体大(学推・東京)

日本ビク 14(6-3)7
 年度国体(次開催地代表・茨城) 東北ムネカタ(実推・福島)

|| 以上Aコート

日立栃木 14
 (実推・栃木) 東京学芸大(開催地代表・東京)

大崎電気 10(5-4)8
 (実推・埼玉) 小松市立女高(高体連推・石川)

ブラザー工業(実推・愛知) 17(9-3)7
 東京教大(学推・東京)

|| 以上Bコート

○……Aコートは3試合ともあまりに順当すぎた。わずかにビクタI×ムネカタが、前半ムネカタの健闘で激しいせりあいとなっただけ。それも後半になるとビクターがいきなり7点を連続して取り15分には14-5。

学生1位の日体大は田村紡に対して積極的な攻撃を仕掛けたものの、チャンスをつかんだあとのス



小松市女高の元気な攻撃に大崎電気もたじたじ (撮影・山田真市)

リードで差があらわれ、後半5分4-10とされ、そのあとの反撃も空しかった。武庫川女大も重機の若手に走りまくられなすすべがなかった。

○……これに対しBコートは熱気にあふれていた。

特に小松市女高の試合よりは男女を通じこの日一番のハイライ

離しても離しても追いかけてくる小松の粘りに大崎はたじたじ。

後半1分小松は3度目のタイ(5-5)。大崎は先行するがすぐ取られ10分をすぎると緊張のあまりまったく動きが止まってしまった。

こうなると「胸を借りる」ムードの小松が有利、15分中川のみごとな倒れこみで8-7と初のリード。スタンド、コートサイドは沸きに沸いた。

残り10分。高校女子にとって試合時間が40分をこえることはない1点リードした状態で、未知の10分に入る小松セブンへのプレ

ッシャーは計り知れないものがあつたろう。はたして17分8-8とされ、あと5分となつてさしもの小松の気力の系にもゆるみが出た。21分、それまでほとんど見せたことのない苦しみが、大崎のカットに会って岩井にゴールを割られた。あと4分を残していたが誰

の目にもこれは決勝点であった。○……東都初登場の日立が東京学芸大を降した一戦も面白かった。日立は前半動きが鈍く、射つシューも腰がすわっていない。学芸大は学生界で場数(ばかす)を踏んでいるだけにそつなくポイントをあげた。

特に前半20分までに初見、安藤の活躍で6-2とした時は、そのまま突き進むかにみえた。ところが、日立はそのあと急に動きが滑らかとなり、木村の好判断からあつという間に点差をつめ後半4分同点、5分逆転(7-6)

15分には11-7とするほどの勢いをみせた。学芸大もひるまず16分以降、相手のミスから好機をつかみ山田の連続3ゴールと、タイムアップ寸前永沢のゲットで振り出しへ戻した。延長後は日立が山井の2得点で先手をとり、これが利いた。学芸大も7MTで1点を返し粘ったが、日立も後半ダメ押しをして勝った。

○……ブラザーは優勝候補らしく宮崎、藤井を中心としたまとものある攻撃と当りの強いディフェンスで畑中に頼る東京教大を突きはなした。

ピクター、ブラザーに制勝 田村紡も大崎を降す

▽同2回戦(勝者は決勝リーグ、敗者は4-6位決定リーグへ)

田村紡 12(7-5)5 大崎電気 ○……田村紡は前、後半を通じて攻防の中広さとタテの厚さで大崎を圧倒し、得点のほとんどがミドルのジャンプシュートであったことが印象的である。

大崎はボール廻しに気をとられすぎてカットインがみられず、田村の防禦を楽にしてしまい、しかもシューに決定力を欠き田村GK久保に阻まれた。それでも前半の点差は2点だったのだから、後半奮起すれば勝機もあったはずだ。

それが零封に終わっては、気力に欠けるといわれてもやむを得ない。

(光島)

日立栃木 13
 0 2 1 1 4 1 2
 0 1 1 1 4 1 1 11 東京重機

○……勝利が決まったとたん、日立セブンはコート上で泣きだしてしまつた。それほど嬉しく、苦しい勝利だった。

後半残り7分で5-7と重機がリードを奪った時はいくら終盤に自信をもつ日立といえども追いつくのは難しそうにみえた。

ところが18分木村、18分40秒鈴木昌で7-7としたのだ。さすがにそのあとは重機も粘り、日立も追加点まではあげられなかった。

4-11

4-11

4-11

4-11

4-11

躍進・日立栃木に恩人の影

◇……「そうだ、きっと小島浩さんの霊がコート上で選手たちを後押ししているんだよ」

日立栃木の桑名照雄監督と阿部徳之助コーチは、自分たちが大の男であるのを忘れて、真顔でこう話しあい、結論づけた。

小島さんはこのチームの生みの親。従業員五千人、スポーツのさかんな工場だが、武蔵のバレーボール、戸塚のバスケットボールのような「シンボル」がない。そこで小島さん(当時、総務部長)が中心となっていていろいろなスポーツをリサーチした結果「将来性、国際性のあるハンドボールを、という事になった」(桑名監督)

◇……選手を集め、練習場をつくり、チームが軌道にのりかけた昨年5月、小島さんは「急性心臓死」で40才の人生を突然閉じた。まだ一試合もせぬうちであった。

1年目は徹底した体力づくり、2年目に技術を上のせ、3年目でAクラス入りという計画が、前回優勝の東京重機を破るおまけまでつけて、堂々、優勝戦線へ駒を進めたことは関係者にとって「不思議な力」の作用があったとしか思えないのだ。

◇……日本ビクターに惜敗したあと、(リカット写真)選手たちは、ベンチに飾られた小島さんの遺影

の前で、来るべき日の優勝を誓った。「スポーツの世界は甘いものじゃないよ、君たちはまだまだ努力しなければいけないぞ」。優しくかつ小島さんの初めて見せたけわしい表情がそこにあった……。

大同、国内チームに負けず

◇……男子で史上初の全日本4大



全日本総合選手権に拾う

あまり興奮した様子もなかった。◇……4冠王の偉業は、女子では愛知紡(現在廃部)(昭和36年度)田村紡(42年度)、大洋デパート(44、45年度)がマークしているが、男子では芝浦工大が34、36年度に全日本学生王座決定戦(現在廃部)を含めた三大タイトル独占という記録があるだけ。

しかも、大同は、一昨年12月以来73戦69勝3分1敗という高勝率その1敗も昨秋9月のユーゴ戦で、国内チームにはついに1年間上をつけたらなかった。3引分のうち一つは、愛知実業団リーグ(9月)で、新人で固めた大同星崎戦。いわば二軍とのものだ。「ウチ

のチームの層の厚さが判るでしょう」と藤中憲二主将は胸を張っていた。

トーナメント(NHK杯、全日本実業団、国体、全日本総合)優勝という快挙をとげた大同製鋼。

カメラマンのフラッシュを浴び記者団の質問攻めに会っていたが、自信にあふれていたせい

年中無休の猛練習 小松市 女高

立女高の奮戦は序盤のハイライト。これまで2回の優勝経験をもつ大崎電気(全日本実業団6位)と四つ相撲を演じ、8-7とリードを奪う場面(後半15分)さえあった。

高校女子の代表が、大会無し。なことは、最近の特色。学生チームは高校と当たらないよう祈っている、といった話までまことしやかに伝わってくるほど。

◇……それにしてもこのチーム、よく練習する。すでに昨夏のインター・ハイ(四日市市)でそれは評判となったが、まさに寸暇を惜しんで投げ、走っている。

35日間休みなし、授業前に1時間、放課後2-3時間、汽車通学の部員もおり、一週2回は学校に泊って練習時間を延ばすという徹底ぶり。

◇……こんな猛練習ができるのは父兄の理解があるからだ。「強くなるにはあたりまえ」と割り切っており谷口監督がどんなに激しく指導することも公認になっていた。

千乗国体(昨秋10月)で優勝した時、選手たちは、まっ先に付き添って来た父兄を胸上げした。「感動的なシーンだった」と日本協会・荒川理事長はその模様を話す。◇……惜敗のあと、谷口監督が「パワー、スピードがやはり違いました。選手たちはあれが精いっ

失	37	39	51	71	失	11	12	19	失	12	21
得	71	49	40	38	得	15	12	15	得	24	17
P	6	4	2	0	P	3	2	1	P	4	2
男	①	②	③	④	女	①	②	③	女	④	⑤
リ	鋼品ス大	リ	紡木	リ	紡木	リ	紡木	リ	紡木	リ	紡木
勝	製菓ル	勝	タ村	勝	タ村	勝	タ村	勝	タ村	勝	タ村
決	同永	決	ク村	決	ク村	決	ク村	決	ク村	決	ク村
男	大湧	男	大湧	男	大湧	男	大湧	男	大湧	男	大湧
①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①
③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②
④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③

ばい、よい勉強になりました」と話しているかたわらで「パスさえもう少しうまくつなげれば」と中川しげみ主将はいつまでもくやしそうな顔をしていた。

外人も 第4日のスタンドに観戦 ずらしいお客様が居たスウェーデンから商用で来日したフオルク・イエンセンさん夫妻で若い頃、マルモ市のクラブでハンドボールに親しんでいたことから今でも熱心なファン。ホテルで読んだ英字新聞で大会の開催を知り、都内見物の予定を変えて会場に足を運んだ、という。

「一九七一年スウェーデン(男)が日本に遠征した時、日本はスピードがあると新聞に出ていたのを思い出しました。東京でハンドボールを見れるとは……」と云い乍ら、漢字の並んだプログラムをだいいじそうにポケットへしまいだ。

会社再建、へ元気な部員たち 大洋火災

昨年11月29日、延々8時間にわたって燃えつづけ、開店中のデパート火災ではわが国最大の惨事を招いた熊本・大洋デパートの大火は、同社の女子ハンドボール部が、国内最強チームで、事故当日も井監督と主力6選手が世界女子選手権(別掲)のため渡欧中であつて、斯界にも衝撃を与えた。

さいわい、ハンドボール部員はこの日が休日で、合宿所に居たため不幸に見舞われなかつたが、勤務先が焼けおち、何人も同僚を失つたショックはあまりにも大きかつた。

一方、渡欧中の大洋勢はパリでこの事故を知り、詳しい情報が入り次第、世界選手権を前に動揺、ユーゴに入つてから家族、部員の無事をようやく知つた。

この間、日本協会も、熊本、フランス、ユーゴの3点に連絡をとりつづける慌しさ。大洋側の意向で井監督らの呼び戻しはされられが、一時は、荒川理事長も選手団の帰国(棄権)を考えたほど。

なお、部員たちは現在、本店の事務と支店の応援の二組に分かれ、会社再建に一生懸命である。部活動の「今後」は未定。

東ドイツ(男子) 9月来日へ

日本体協からこのほど日本協会に伝えられた連絡によると、日体協の「日本・東ドイツスポーツ交流」で、ハンドボールの実施が正式に決定、第1回として、今シーズン9月、東ドイツ男子の来日が確定的となつた。

昨秋の話しあいでは、まず日本側の遠征を望まれていたが、経費を希望、なりゆきが注目されてきた。今回の連絡では、9月7日から10日間来日ということになって、日本協会は、1月12日の月例常務理事会(東京)で受け入れについて協議、会場確保などの点で9月初旬とすることを再要望した以外は、20名の招待を正式に決めた。

東ドイツのレベルは世界最上位で、男子は2月の世界選手権の最有力優勝候補、もし栄冠を握つての来日となれば、日本のファンへ、昨秋のユーゴシリーズにつき豪華なプレゼントとなる。

詳しい日程は、日体協などと調整後、2月10日の全国会議(東京)でまとめられよう。

荒川理事長の話 日本体協事業の一環であり、なんとか成功させたい。女子が世界選手権で優勝すれば男子よりもそのほうが強化の

ためにはよいと思つたが、9位に終つてしまい、こうなれば男子が、ワールドチャンピオンとなつて来て欲しいと願つている。

シリーズのうち1試合を「NHK杯」とし、全日本選抜の試合もこれで決定することになる。

スタディオンは4月に静岡、岐阜などで5戦

日本協会では、デンマークの強豪「スタディオ・スポーツクラブ」(男子)の来日(3月30日、4月11日)について準備を進めていたが、このほど対戦チームと開催地が次のように決まつた。

デンマークチームの来日は史上初めて。京都ではナショナルチームが対戦の予定だ。正式な日程は2月初旬に決まる。

▽対戦チーム、静岡教員団(静岡)
二和家具(岐阜)、大同製鋼(愛知)、対戦チーム未定(大阪)、全日本又は地元単独(京都)

三重で高校女子
総合々宿

全国からの参加呼びかけ

昨春、都道府県協会主催では初めての総合強化合宿として注目をあびた三重協会の「高校女子総合合宿」が、ことしも3月25日から

4月3日まで四日市市で開かれることになり、同協会はその実施要項を発表、全国各地からの参加を呼びかけている。

合宿は、参加校同士の練習マッチや、地元実業団・田村紡(全日本2位)との対戦など実戦を中心に進められ、随時、技術講習会なども予定。タイプの違ったチームと数多く対戦できることを狙にしたユニークなトレーニング・キャンプといえる。

○……第2回高校女子総合合宿要項

一、期日 3月25日正午～4月3日15時 一、会場 三重県立四日市高校(4～6面) 一、宿舎 四日市高校各校内及び田村紡合宿所 一、参加資格 高校女子に限る 一、経費 一日3食一人千二百八十円 一、申し込み及び連絡 問い合わせ先 三重県四日市市富田4丁目1の43・三重県立四日市高校、梶川佳孝(電話0565-821) 申し込みは2月末日まで受けつける。

国際オリンピックアカデミーの受講生募集

日本体協は、IOC(国際オリンピック委員会)の指導のもとにギリシア・オリンピック委員会が主催する国際オリンピックアカデミーの第14次セッションの受講生を募集するため、各競技団体に通

達した。日本ハンドボール協会の推せん希望者は2月15日までに日本協会あて連絡(文書)して下さい。

募集要項

▽名称 国際オリンピックアカデミー第14次セッション

▽会期 49年7月19日～8月3日

▽場所 ギリシアオリンピック

▽募集人員 6名

▽資格 (1)体協加盟団体、体育系大学ならびに体育研究機関から推せんされた者 (2)推せん団体の活動に永く寄与できるコーチ、トレーナーあるいは職員、学生(競技経験者が望ましい) (3)英、仏、ギリシア語のいずれかで日常会話ができ、その理解力(テキスト)について自信のある者

▽経費 全額個人負担(1)アテネまでの往復旅費及び旅券代など渡航準備費 (2)会期中1人1日12USD (3)現地個人雑費

大同製鋼に 日本協会は恒例のスポーツ賞 第23回日本スポーツ賞(読売新聞社制定)部門賞に今シーズン4大タイトルを独占した大同製鋼(愛知)を推せんした。

2月10日に全国会議

日本協会は2月10日(日)午前10時から全国理事会を、同日午後2時から定期全国評議員会を、いずれも東京・岸記念体育会館で開くことに決めた。

☆ ス
★ ク
☆ ッ
★ ピ
☆ ト
★ 外
☆ 海

杉山 茂
(NHK運動部)

世界選手権(2月28日~3月10日、東ドイツ11都市)が近づき、がぜん男子の交流が活発の欧州球界だが、今月は恒例の東欧3大トーナメントの結果を中心にまとめておいた。なお、世界選手権の各地域(大陸)予選の結果は、本誌5頁を参照されたい。

ルーマニアに栄冠

カルパティアカップ
・トーナメントは、11月末、クルージュ(ルーマニア)に5ヶ国6チームが参加、リーグ戦で行われた。

来春の世界選手権の優勝候補にあげられる各国とあって、各試合とも激戦となり、連日つめかけたファンをエキサイトさせた。結局、ルーマニアとユーゴが同勝ち

点となり得失点差の争いからルーマニアが優勝と決まった。ユーゴは、プリバニッチ、ポポビッチが軍籍にあり、ラザレビッチは負傷で、この遠征には参加しなかった。

デンマー	24	(1311)	108	18	東ドイツ
ルーマニ	20	(812)	712	19	アルバ
ユーゴ	25	(1510)	911	20	ソビエト
ユーゴ	20	(911)	812	20	東ドイツ
ソビエト	23	(158)	68	14	ルーマニ
ルーマニ	23	(1013)	77	14	デンマー
ルーマニ	21	(1011)	119	20	東ドイツ
ユーゴ	22	(1012)	711	18	アルバ
ソビエト	23	(1310)	58	13	デンマー
東ドイツ	22	(715)	78	15	ルーマニ
ルーマニ	24	(1212)	68	14	ソビエト
ユーゴ	17	(89)	107	17	デンマー
ルーマニ	23	(914)	119	20	デンマー
ソビエト	21	(147)	106	16	東ドイツ
ユーゴ	14	(311)	67	13	ルーマニ

ソビエトが全勝優勝

トビリシ国際

ジョルジア共和国(ソビエト)の恒例行事、トビリシ国際トーナメントは12月、トビリシ市を中心に6チームが出場してリーグ戦で行われ、ソビエトが各試合とも前半で優位に立ち全勝、シュミットを再びエースに押し立てた西ドイツが2位に入り注目された。ユーゴは、主力が欠けパツとした試合ぶりではなかった。

ソビエト	26	(1313)	109	19	ソビエト
西ドイツ	20	(119)	79	16	ルーマニ
ユーゴ	28	(1414)	614	20	アゾルジ
ソビエト	22	(913)	88	16	ユーゴ
ルーマニ	18	(108)	69	15	アゾルジ
西ドイツ	27	(1512)	67	13	ソビエト
西ドイツ	18	(99)	78	15	ユーゴ
ソビエト	23	(149)	94	13	アゾルジ
ルーマニ	18	(108)	105	15	ソビエト
ソビエト	19	(811)	87	15	西ドイツ
ユーゴ	31	(1516)	1411	25	ルーマニ
アゾルジ	17	(611)	89	17	ソビエト

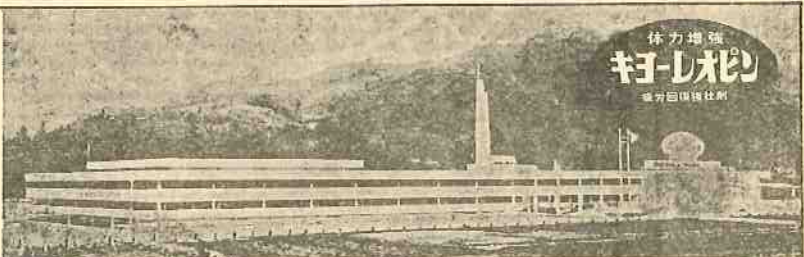
東ドイツは地元で快勝

クリスマスストーナメント」とも呼ばれる恒例の東ドイツ国際大会は12月18日から5日間ベルリンなどで5ヶ国6チームが参加して行われた。世界選手権を狙う東ドイツがベストメンパーを揃え、カルパティアカップ(前掲)とは見違えるような攻守で、強国をなぎたおし優勝を飾った。

東ドイツ	35	(2015)	86	14	アイスラ
ルーマニ	19	(127)	59	14	東ドイツ
チェコ	18	(810)	97	16	ハンガリ
東ドイツ	23	(914)	108	18	東ドイツ
ルーマニ	20	(713)	612	18	ハンガリ
チェコ	21	(129)	912	21	アイスラ
東ドイツ	21	(129)	87	15	ハンガリ
東ドイツ	26	(1016)	913	22	アイスラ
ルーマニ	19	(109)	611	17	チェコ

近代化を誇る
湧永薬品広島工場

湧永薬品
株式会社



本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5
東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891

支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
工場/広島と和歌山

東ドイツ 16 (7-7) 14 チェコ

ルーマニア 21 (8-12) 20 アイスラ

ハンガリー 15 (6-7) 14 東ドイツ

東ドイツ 20 (12-8) 13 ルーマニア

チェコ 19 (12-7) 15 東ドイツ

ハンガリー 24 (14-10) 21 アイスラ

【順位】①東ドイツ5戦全勝②ルーマニア③チェコ④ハンガリー⑤東

ドイツB⑥アイスランド

ハンガリー地力を示す

ヨーロッパの中堅4国を集めた

ウィーン国際トーナメントは、11

月行われ、ハンガリーが、世界選

手権シード国の地力を示して優勝

ハンガリー 36-10 ベルギー

オランダ 10-8 オーストリア

ハンガリー 17-12 オランダ

オランダ 14-9 ベルギー

ハンガリー 19-10 オーストリア

【順位】①ハンガリー②オランダ③

オーストリア④ベルギー

ソビエト、自信の優勝

ウクライナ女子国際

世界選手権前の大会だが、11月

ウクライナで行われた女子のビッ

グトーナメントの結果をお知らせ

しよう。

ソビエト、東ドイツが同勝ち点

(8)で並び、得失点差の争い

らわずかにソビエトが優り、首位

となった。ルーマニアはこの大会

も勝ちこせず苦しい試合ぶり

で、3週後の世界選手権で準優勝する

ことを予想した人は少なかった。

ソビエト 9 (6-3) 6 西ドイツ

東ドイツ 10 (6-4) 10 デンマー

ソビエト 19 (11-7) 13 ルーマニア

デンマーク 11 (5-4) 8 西ドイツ

東ドイツ 18 (11-7) 12 ソビエト

ソビエト 7 (3-0) 4 ルーマニア

東ドイツ 21 (10-1) 6 西ドイツ

ソビエト 18 (14-7) 10 ソビエト

ルーマニア 12 (6-7) 10 デンマー

ソビエト 14 (7-5) 13 西ドイツ

東ドイツ 15 (8-7) 15 ルーマニア

ソビエト 17 (8-5) 10 デンマー

ルーマニア 12 (5-5) 10 西ドイツ

デンマーク 15 (11-5) 13 ソビエト

東ドイツ 11 (5-6) 9 ソビエト

【順位】①ソビエト4勝1敗(得失

点差19)②東ドイツ3勝2分(17)

③デンマーク・ルーマニア⑥ソビ

エトB⑥西ドイツ

エトB⑥西ドイツ

スウェーデン スウェーデン男子

ン北米遠征 は12月上旬、北米

遠征を行い、アメリカに20-13、

27-17で連勝、カナダにも30-14

で大勝した。カナダの消息を得た

のは久しぶりのこと。

ザグメス かつてユーゴのエー

ター仏へ スとして活躍、世界

選手権(昭45、パリ)で日本を苦

しめたZ・ザグメスター(30才188

cm、90K)はこのほどフランス1

部リーグ「FC・ミュールーズ」に

加わり、11月なかばから登場、毎

試合5-7点をかせいで、健在ぶ

りを示している。

ゲンメルスバッハ準決勝へ

スタジオンは敗退

9月なかばから行われて

いる第14回ヨーロッパカッ

プは、旧年内に準々決勝が

終了、2連勝を狙うMAI

モスクワ(ソビエト)、王座

奪還に燃えるゲンメルスバ

ッハ(西ドイツ)、北欧の新

星オアサール・オスロ(ノル

2戦を15-19で落として敗退した

ことだろう。

チェスカはゲンメルスバッハに

14-22、19-18だったが、このチ

ームの活躍は序盤のハイライトで

ある。このほか、4月来日が確定

したスタディオ・コペンハーゲン

(デンマーク)は、アルスラナ

ジッチ、ポボビッチらのポラック

・パンヤルカ(ユーゴ)に第2戦

19-16で勝ったものの、第1戦の

10点差(10-20)がたたって敗退

した。イスラエルから参加してい

るハポエル・ヘルズリアは1回戦

でCF・バルセロナ(スペイン)

に16-32、23-29で敗れている。

今シーズンもホーム・アンド・

アウェイの明暗があまりにもはっ

さりしており準決勝(カード未発

表)は予断を許さない。

一方、女子(第13回)は史上最

高の17ヶ国が参加して、世界選手

権明けを待ち開幕、緒戦のHK・

ボランジェ(スウェーデン)×メ

ディナ・ギブスコア(スペイン)

は10-3でボランジェが勝った。

優勝争いは、相変わらずスバルタ

・キエフ(ソビエト)、SC・ブダ

ペスト(ハンガリー)、ラドニッキ

ベオグラード(ユーゴ)、SC・ラ

イブチヒ(東ドイツ)、ブカレスト

大学(ルーマニア)、オデバ・フロ

ーベック(チェコ)ら東欧勢によ

るものとみられ、特に連勝目指す

キエフの試合ぶりが焦点である。

日本ハンドボール協会公認球

一番よく使われて居る!

サービス部
新宿区新宿2丁目電停前
TEL (34)2979-1016

望月運動用品KK
東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622) 0746



競技面の課題未解決

日本協会は昭和48、49年の協会新機構を昨年2月10日に決定し、去る4月新役員でスタートした。

このことについては、全国すべてのハンドボールマンが祝福し、日本ハンドボール界の発展を願って今日に至っている。

その後、一部人事の入れ替えが行なわれたが、まずはスムーズな会務処理がなされ、国内恒例のビッグゲームや国際交流によるレベルアップも軌道に乗って進められていると思う。

しかしながら、競技に欠かせない審判技術の向上と充実の問題、競技力の向上、特に指導者層の強化の問題などの解決のための努力については、必しも満足できる状態にあるとは考えられない。

これら重要な問題の討議の結果が、おうおうにして経費問題が絡み、その責任を「金銭」にすりかえているやにも感じられる。

私は、われわれアマチュアとしてハンドボールを愛好するものとしては、常に一定期間、奉仕的、献身的努力をもってハンドボール界を盛りあげ、先ずは軌道に乗せ、その軌道を進めることによって自立体制を確立することが大切だと考えている。

その意味で、常に問題となる全日本の監督、コーチの人選に一言

訴えたいと思ひペンを走らせることをお許し願いたい。その前に断りたいことは、私は、昭和46年第4回世界女子選手権大会のコーチを任命されながら、勉強不足のため、その責を果し得なかつたことを深く反省し、お詫び申しあげ、このような立場にありながら問題提起をすることは、大変心苦しいのであるが日本ハンドボール界の発展を願って次のような提案をしたいと思う。

反面、果して「日本のハンドボール」が追究されていたであろうか。この点に疑念を抱かざるを得ない。

では何故こうなったのであろうか。それは監督、コーチの選出が一貫されていないということにつきるし、その体制ができていなかっただといえるのではないだろうか。こう考えるのは、私以外にも数多くおられるでしょう。

「日本のハンドボール」を追求するためには、それなりの研究討

「強化部」「指導体系」設定急げ

～日本のハンドボール確立のために～

宇津野年一

一貫しない指導陣の選出

全日本の監督、コーチは言うまでもなく理論と実技に精通し、日本を知り、世界に通ずる者が当るべきであって、自己の機能を十分に發揮し、遂行することは論を待たないが、指導の骨子は「日本のハンドボール」であって、唯単なる模倣ではならないと思う。

過去の監督、コーチのあり方が間違っていたとは思わないし、むしろ立派であったと思っているが

議がなさなければならぬし、当然、討議機関が設置されていなければならぬと考える。

頂点強化に討議の場を

私はこれらの問題については、技術部の中に強化部（仮称）を組織し（現機構では3部に関連する強化委員会はある）機関誌100号3頁）、その中に男子強化部、女子強化部を設け、その委員が許される範囲内で数多くの研究討議の場を持ち、日本を見つめ、世界を知

って、「日本のハンドボール」の確立に努めそこから、技術体系と指導体系をつくりあげることが第一であると考ええる。

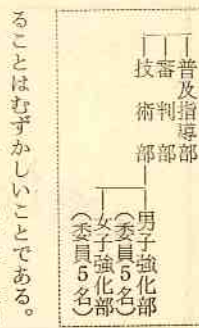
もちろん強化委員は、全国津々浦々から、過去、現在、将来を含めて有能な人材を抜擢し、その委員の中から全日本の監督、コーチを選出すれば、多くの協力を得られ、「日本のハンドボール」を遂行できるし、さらに個人の才腕を十二分に發揮することも可能となる。

過去その任につかれた方々は少なくとも自分のハンドボールの域内で任務の遂行に鋭意努力されたことと思う。

成功して当然、失敗でもしようものなら酷評をうける。これがハンドボール界の「常道」であったように見られていたが、この成り行きは、ハンドボールの見方の相違に主たる原因が潜んでいるように思う。

現在では、その声は消えかかっているが、日本のハンドボールはかつて関東流だ、関西流だといわれ、さらには日体流、芝浦流、立教流などとささやかれたことを記憶しているが、私はそれはそれなりに意義があり、貴重だと思っていたが、こと全日本に関しては〇〇流、××流などというのは当て嵌まらないと思う。

異なった畑で育った選手が、短期間で満足できる全日本に育成す



ることはむずかしいことである。ハンドボールマンが、全日本の監督、コーチをあげて支援することは言うまでもないことであるが私はそれ以前の問題として、監督、コーチとしての人材を、どこで、どのようにして研鑽してもらおうかが大問題であると思う。この解決の道として、今、協会の英断により、強化部の組織化と人選を急いでもらいたい。現在の協会機構で、各部の業務内容を明確にし、相互の密なる連絡も必要であると思う。この意味から日本のハンドボール技術の向上に一役買うのが、時代の流れに遅れない正しい審判の判定であると考ええる。

審判部の技術見解と、技術部の技術見解の統一を図ってもらいたいと願うものである。審判員が選手の手技術の向上に一役買っていることは明瞭であり、そのための努力は当然であると思う。

現在、審判部においては、前向きな姿勢で努力を願っているが、さらに横との連絡において一層の努力を願う次第である。

なお、強化部（仮称）の機構私案は別掲のとおりである。（投稿稿）

海上自衛隊の全国大会 佐世保

第2回海上自衛隊全国大会が2月14日から16日までの3日間長崎・佐世保市立体育館で行われる。10年はど前、海上自衛隊の体育訓練としてハンドボールが採用されて以来、着実にその芽は伸び、去年から異色の全国大会発足となった。今年は23チームの参加が予定されている。

田村幸雄氏(千葉、第4航空群)からの「情報」をもとに大会の話題を探ってみた。

○……昨年、一昨年と2年つづけて海上勢が全日本自衛隊選手権の優勝を飾り、ハンドボール熱はいっそうかき立てられている。それにつれて全般のレベルは急速に高まっており、特にこの大会でも有力な優勝候補にあげられている第一航空群(鹿児島)、佐世保地方隊(長崎)、第四航空群(千葉)などは、団体などでも一般、実業団と互角に互りあっており、そのチーム力は相当なものだ。

○……艦船部隊よりも、航空部隊の方がやや優勢なのは、練習環境などによるものだろうが、舞鶴地方隊(京都)のように、この大会を目指して、早くからトレーニングを積んでいる艦船チームもあり今年あたりは、一波乱おきそうな気配である。

○……同一基地内から別々のチームが出るのも自衛隊球界の特色。なかでも第三術科校(今年度全日本自衛隊選手権優勝)と第四航空群は、昨年来、千葉県内の宿敵同士だし大湊地方隊と第二航空群はともに青森にあって、3年後の地元団体を目指しているチーム。

また徳島教育航空群は、なんと三航空(徳島)と宇都宮教空(栃木、前回2位)の寄合いという。

○……チームによっては、この大会のため、他のスポーツから選手を「調達」してくるところもある

し第二航空群(千葉)のように主力の得丸、小森が南極に行っているそのマイナスが痛いといった話も伝えられてくる。中水流(第一航空群)、平野(第四航空群)ら全日本級の選手も輩出しており、個人技の充実も楽しみの一つ。いつのまにか育って来た海上自衛隊のハンドボール界だが、その陰には小月教育航空群(山口)のように多くの選手、指導者を全国へ送り出した部隊の功績も見逃せない。

(参加チーム)横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊各地方隊、第一、第二、第四、第二、第三各航空群、第一、第二、第三、第四各護衛隊群、鹿屋、徳島、小月各教育航空群、第一、第三各術科校、第一、第二各掃海隊群、潜水隊群練習艦隊。

厚く、深い底刻み、 フット・ワーク優先の 合理シューズ



- 力のロス、横スベリを解消した合理設計で定評高い斜線模様の特種モールド底。(パテント出願中)
- 厚く、彫りの深い底、中底はユニークな弾性を誇る二重スポンジ・クッション。
- 表布と裏布を離した袋状アッパーで、快適な足扱い、軽快な履き心地。
- ブルー、金茶のカラー・フルなデザイン。
- 要部に革補強。



ハンドベアー

デラックス〈HX〉 ●サイズ=22.5~29 ●ブルー・金茶 ●¥1,900
スタンダード〈HA〉 ●サイズ22.5~29 ●アイボリー ●¥1,700

神戸 **ベアー株式会社** 東京

●全国有名スポーツ品店、百貨店でのお求め下さい。

在庫少数!!

日本ハンドボール協会編 「ハンドボールテキスト」 ¥ 300.

お申し込みは日本ハンドボール協会普及部まで

湧永薬品、順当の優勝 近畿実業団

各地の記録

第3回近畿実業団選手権は昨年10月29日から4日間、大阪・東淀川体育館に5チームが参加、リーグ戦で行われ、湧永薬品(大阪)が順当勝ちした。(男子のみ)

大山商会 22(139)5 大阪ガス 22(139)5
 湧永薬品 22(111)7 4 神戸製鋼 22(111)7 4 11
 製鋼所 3勝1敗③大山商会 2勝2敗④大阪ガス⑤美津濃

東京重機の4連勝成らず
 トップチームがこぞって参加する恒例の第11回東京都選手権は11月3日から18日までの4日間、東京重機ハンドボール場に男31、女

11チームが参加して開かれた。

男子は1回戦で芝浦工大が神代クに延長で敗れたのをはじめ、三景、法大などが次々と脱落、2連勝を狙う大崎電気も日体大に押し切られ、結局、中大が決勝で日体大に逆転勝ち初優勝を飾った。

女子も、全日本学生2位の東京教大が東花ク(関東クラブ1位)に敗れるなどしたが、予想どおり実業団勢が強く、日本ビクタールが東京重機の4連勝を阻んで初優勝した。

大崎電気 20(1010)4 3 7 かなんク
 日本ビク 14(59)1 2 3 東花ク
 東京重機 20(119)2 2 4 大
 日本ビク 11(74)4 5 9 大崎電気
 日体勝 8(3)3 3 6 東京重機
 日本ビク 5(1)3 3 6 東京重機

室蘭ク、男女で優勝
 第13回北海道(全道)室内選手権は12月22、23日の両日室蘭市体育館に男子18、女子6チームが参加。男子は4連覇を狙う北大を大激戦の末に破った室蘭クが決勝で相手・函館有斗OBの棄権から勞せずして初優勝。

女子も波乱ぶくみだったが、室蘭クBが函館女商OGに大勝、栄冠を飾った。

室蘭ク 13-9 室蘭東OB
 函館有斗OB 25-15 北大OB
 函館有斗OB 35-12 函館商門ク
 北大OB 19-13 函館有斗OB
 函館有斗OB 25-15 北大OB
 函館有斗OB 35-12 函館商門ク
 北大OB 19-13 函館有斗OB

東京重機、男子は好調
 第3回東京都クラブ・リーグ(11月・東京重機球技場ほか)
 男子決勝トーナメント1回戦
 L・B・C 9-6 育英
 育英 B 棄権 S・D・P
 若木会 棄権 松門会
 重機愛好会 18-14 関東OB
 同準決勝
 L・B・C 13-12 若木会
 重機愛好会 15-8 育英 B
 同3位決定戦
 御坊商工、男女揃って勝つ
 和歌山県高校新人大会(11月・新宮高)

室蘭ク 18-13 旭川教大
 同準決勝
 室蘭ク B 15-4 室蘭東OB
 函館女商OG 12-3 函館商門ク
 同決勝
 室蘭ク B 10(4)3 2 5 函館女商OG
 同準決勝
 室蘭ク 18-15 北
 函館有斗OB 25-15 北大OB
 函館有斗OB 35-12 函館商門ク
 北大OB 19-13 函館有斗OB
 函館有斗OB 25-15 北大OB
 函館有斗OB 35-12 函館商門ク
 北大OB 19-13 函館有斗OB

東京重機、男子は好調
 第3回東京都クラブ・リーグ(11月・東京重機球技場ほか)
 男子決勝トーナメント1回戦
 L・B・C 9-6 育英
 育英 B 棄権 S・D・P
 若木会 棄権 松門会
 重機愛好会 18-14 関東OB
 同準決勝
 L・B・C 13-12 若木会
 重機愛好会 15-8 育英 B
 同3位決定戦
 御坊商工、男女揃って勝つ
 和歌山県高校新人大会(11月・新宮高)

室蘭ク 18-13 旭川教大
 同準決勝
 室蘭ク B 15-4 室蘭東OB
 函館女商OG 12-3 函館商門ク
 同決勝
 室蘭ク B 10(4)3 2 5 函館女商OG
 同準決勝
 室蘭ク 18-15 北
 函館有斗OB 25-15 北大OB
 函館有斗OB 35-12 函館商門ク
 北大OB 19-13 函館有斗OB
 函館有斗OB 25-15 北大OB
 函館有斗OB 35-12 函館商門ク
 北大OB 19-13 函館有斗OB

▽男子決勝リーグ

御坊商工 6-3 那賀
那賀 10-8 市和歌山商
御坊商工 5-2 市和歌山商
御坊商工は2度目の優勝

▽女子決勝トーナメント1回戦

(11準決勝)

県和歌山商 6-4 粉河
御坊商工 10-2 笠田
▽同決勝

御坊商工 10-3 4-3 県和歌山
3-0 0-0 7

御坊商工は初優勝

三春台ク、春秋連覇成る

▽神奈川県一般男子秋季選手権

(11月・桐蔭学園)

三春台ク 26-7 北陵
神奈川教員団 25-18 日本発条
法工ク 20-13 蒔田クB
セントラル 19-8 立野ク
自動車 13-12 神奈川教員
自動車 13-12 神奈川教員

▽準決勝

三春台ク 18-6 法工ク

セントラル 13-12 神奈川教員

自動車 13-12 神奈川教員

▽決勝

三春台ク 16(8-6)9 セントラル自動車

明倫、延長で市川崎制す

▽神奈川県高校新人戦(11月・東高)

▽男子準々決勝

多摩 16-8 鎌倉学園

一商 14(延)13 希望ヶ丘

慶応 9-5 相模原

横浜商 10-9 逗子

▽同準決勝

多摩 10-4 一商

慶応 没取試合 横浜商

▽同決勝

慶応 13(8-5-1)1 多摩

▽女子準々決勝

明倫 13-5 京浜横浜

市川崎 9-2 県商工

立野 8-3 高津

▽同準決勝

明倫 13-2 東野

市川崎 9-4 立野

▽同決勝

明倫 5(1-1-2)3 市川崎

(注)男子1回戦で慶応55-3市立横須賀工(前半25-2)という高校界ではめずらしい大差得点がマークされた。

▽大阪府高校新人戦(11月・初芝高ほか)

▽男子準々決勝

佐野工 13-5 八尾

上の宮 10(分)10 榎工

7MTコンテストで上の宮の勝

鳳 12(分)12 初芝

7MTコンテストで鳳の勝ち

7MTコンテストで撰津の勝ち

▽同準決勝

佐野工 9-7 撰津

上の宮 8-7 鳳

▽同決勝

佐野工 8(3-5-2)7 上の宮

▽女子準々決勝

和泉 7-5 箕面

大谷 9-2 春日丘

住吉学園 8-5 天王寺

▽同準決勝

大谷 11-0 枚方

住吉学園 9-5 和泉

▽第9回広島県秋季選手権(11月呉商高) 11男子のみ

▽準々決勝

日新製鋼 15-14 広島教職員

呉高専 9-6 近大呉工学部

広島大 11-8 呉商

三ツレ大竹 記録不明 修道大B

▽準決勝

日新製鋼 23-9 呉高専

三ツレ大竹 19-15 広島大

▽決勝

日新製鋼 13(6-1-8)10 三ツレ大竹

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

教員クが王座につく

▽第16回岩手県総合室内選手権(11月・岩手県体育館)

▽男子・一般の部1回戦(2試合)

白亜ク 21-12 花巻ク

岩手大 21-8 一関高専

▽同準決勝

岩手教員ク 19-17 白亜ク

盛岡商友会 15-9 岩手大

▽同決勝

岩手教員 14(7-7-3)9 盛岡商友会

▽同・高校の部準々決勝

盛岡商 28-3 一関工

盛岡一 13-11 水沢

花巻農 10-7 生活学園

盛岡四 7(延)6 花巻北

▽同準決勝

盛岡商 17-8 盛岡一

花巻農 11-9 盛岡四

▽同決勝

盛岡商 13(8-5-2)2 花巻農

▽男子王座決定戦

岩手教員 13(8-5-2)8 盛岡商

▽女子(高校)準々決勝

岩手女 9-2 花巻農

花巻北 7-1 黒沢尻南

平館 7-5 大原商

花巻南 3-2 盛岡二

▽同準決勝

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

花巻南 8(5-3-1)2 岩手女

岩手女 7-3 花巻北

花巻南 6(延)3 平館

▽同決勝

田村紡OG、元気な準優勝

▽第24回三重県総合選手権(兼第8回日沖杯争奪トーナメント)(11月・津女高)

▽男子準々決勝

本田技研 20-10 綿の森ク

本田技研B 28-9 明野航空隊

本田技研C 12-11 四日市工高

三菱油化 24-19 久居自衛隊

▽同準々決勝

本田技研 27-20 本田技研C

本田技研B 17-9 三菱油化

▽同決勝

本田技研 22-7 本田技研B

▽女子準々決勝

田村紡 20-1 上野商高

津女高ク 8-2 菰野高

田村紡OG 12-0 暁高ク

▽同準決勝

田村紡 21-6 津女高ク

田村紡OG 11-4 津女高

▽同決勝

田村紡 10-3 田村紡OG

激戦の末、教員が初優勝

▽第10回宮崎県総合選手権(11月西都市)

▽男子準々決勝

宮崎大 14-9 日向工高

宮崎教員 25-15 都城商高

泉丘会 27-9 宮崎工高

宮崎ク 19-16 日南工高

▽同準決勝

宮崎教員 19-10 宮崎大

宮崎大 14-9 日向工高

宮崎教員 25-15 都城商高

泉丘会 27-9 宮崎工高

宮崎ク 19-16 日南工高

▽同準決勝

宮崎教員 19-10 宮崎大

宮崎大 14-9 日向工高

宮崎教員 25-15 都城商高

泉丘会 27-9 宮崎工高

泉丘会 21-17 宮崎ク

▽同決勝
宮崎教員 25
22 22 13 8
11 12 11 11
24 泉丘会

▽女子1回戦(3試合)
都城西高 10-3 延岡高
泉ヶ丘高 8-7 西都商高
小林商高 17-3 都城西高B

▽同準決勝
泉ヶ丘高 15-8 都城西高
小林商高 兼権 宮崎女高

▽同決勝
泉ヶ丘高 10 12 1 6
1 2 1 1 1 6
0 2 4 4 3
9 小林商高

▽同準決勝
福井商 15-7 高志
若狭 18-14 北陸

▽同決勝
福井商 21(12-7) 7 若狭
福井商は初優勝

男女ともいぜん三本松
▽香川県高校新人大会(11月・高松工芸高)

▽男子準々決勝
高松一 31-0 高松南
三本松 20-7 多度津工

▽同準決勝
坂出工 15-6 尽誠学園
丸亀 15(分) 15 高松東

▽同準決勝
三本松 9-7 高松一
坂出工 14-6 丸亀

▽同決勝
三本松 10(4-6) 9 坂出工
▽女子1回戦(1試合)

女子商 6-2 高松

▽女子1回戦(1試合)
女子商 6-2 高松

▽同準決勝
三本松 13-3 高松南
高松一 3-2 女子商

▽同決勝
三本松 17(10-1) 1 高松一
男子で福井商初の栄冠

▽福井県高校新人大会(11月・敦賀市立体育館)

▽男子予選リーグA組順位①福井商②北陸③武生商④羽水

▽同B組順位①若狭②高志③敦賀工④藤島

▽同準決勝
福井商 トーナメント1回戦

▽同決勝
福井商 21(12-7) 7 若狭

▽女子予選リーグA組順位①羽水②福井商③高志

▽同B組順位①武生商②藤島③若狭

▽同準決勝
羽水 11-5 藤島

▽同決勝
羽水 6(2-1) 3 武生商

女子は一女商抜群
▽広島県高校新人戦(11月・広島)

▽男子準々決勝

工 11-10 廣次
宮原 12-9 三山

修道 12(7-3) 10 呉工
修道 17-8 盈進

▽同準決勝
廣島一女商 8-2 山陽女

▽同決勝
廣島一女商 15(10-1) 1 進徳

▽女子1回戦(2試合)

廣島一女商 8-2 山陽女

▽同準決勝
廣島一女商 18-1 呉商

▽同決勝
廣島一女商 15(10-1) 1 進徳

▽男子準々決勝
四日市工 18-6 津工

▽同準決勝
四日市中央工 13-6 尾鷲

▽同決勝
四日市工 15-6 四日市中央工

▽同準決勝
四日市工 20(8-2) 4 高田

▽女子準々決勝
四日市 20-0 松阪女

▽女子準々決勝

津女子 11-4 亀山
四日市 10-3 龜山

▽同準決勝
津女子 11-4 亀山

▽同決勝
津女子 10-3 四日市

熊本・県中体連大会ハンドボール競技(11月・松橋中) 参加男11,女11

▽男子決勝トーナメント1回戦
玉南 10-9 鏡

▽同準決勝
松橋 12-10 帶山

▽同決勝
玉南 10(延) 9 人吉一

▽同準決勝
松橋 14-4 牛深

▽同決勝
人吉一 8(24-1) 5 松崎

引き分け
20-0 2 8 松崎

(注) 両校優勝
▽女子決勝トーナメント1回戦

(準決勝)
氷川 7-5 本渡

▽同決勝
氷川 9(6-5) 9 玉南

「各地の記録」への寄稿は大会終了後2週間以内に編集部あてお送り下さい。(用紙自由)

▽女子準々決勝

☆編集後記

□……日本協会を取り巻く社会情勢も、つとに厳しく、一九七四年は多難な年となりそうです。世界選手権(男子)アジア予選をめぐる執行部の苦悩はその一つのあらわれでした。

しかも、オリンピック决定着により日本ハンドボール界を見る内外の目の厳しさは、これまでと比較になりません。

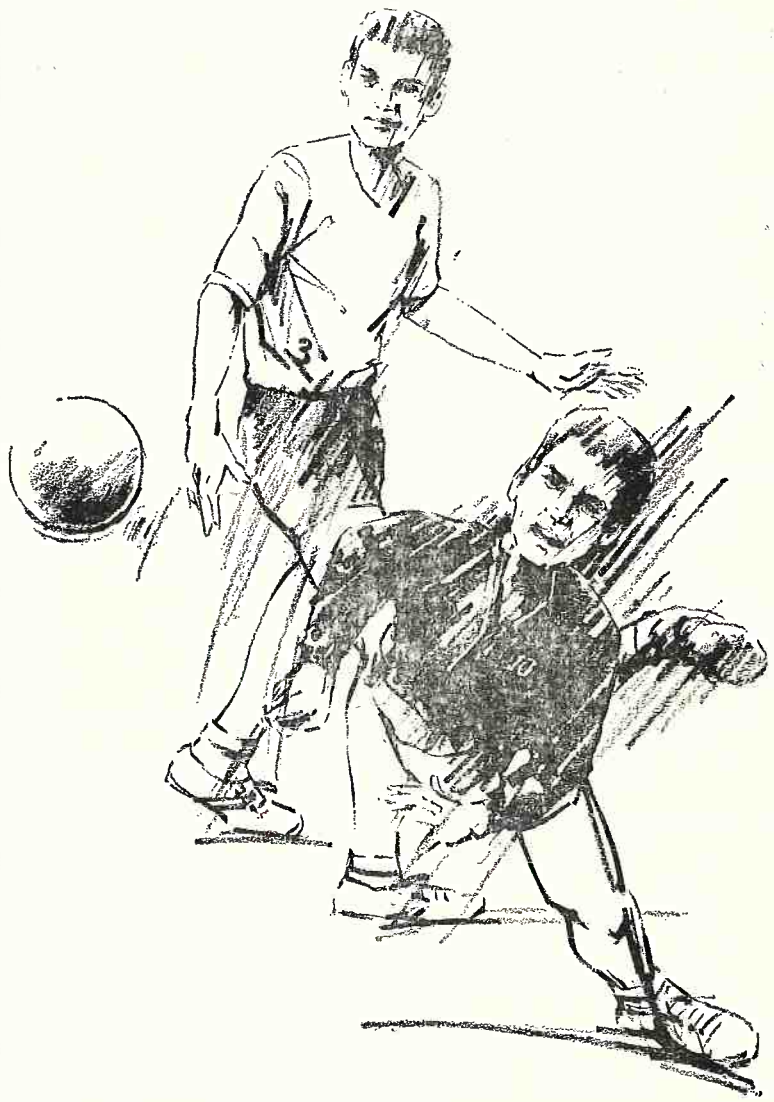
□……ここ数年、日本ハンドボール界は、順調な足どりで成長を遂げてきました。

「田村・荒川体制」にあって初めて迎える試練の年ということもできそうです。

これまでに貯えた地力を今こそ發揮して、この難関を突破しなければなりません。

印刷を引きうけて下さる高橋活版(学術社)のご配慮である程度までの見直しはたつていますが、楽観は許せません。読者各位のご協力、ご理解をお願いすることもありそうです。

□……ことしも積極的な寄稿を期待しています。球界(協会)論、リポート、ニュース、記録等々。技術論、球史の発掘を特に歓迎します。(杉)



鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髓がある

■ジューキミンは精密工学の結晶とつたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

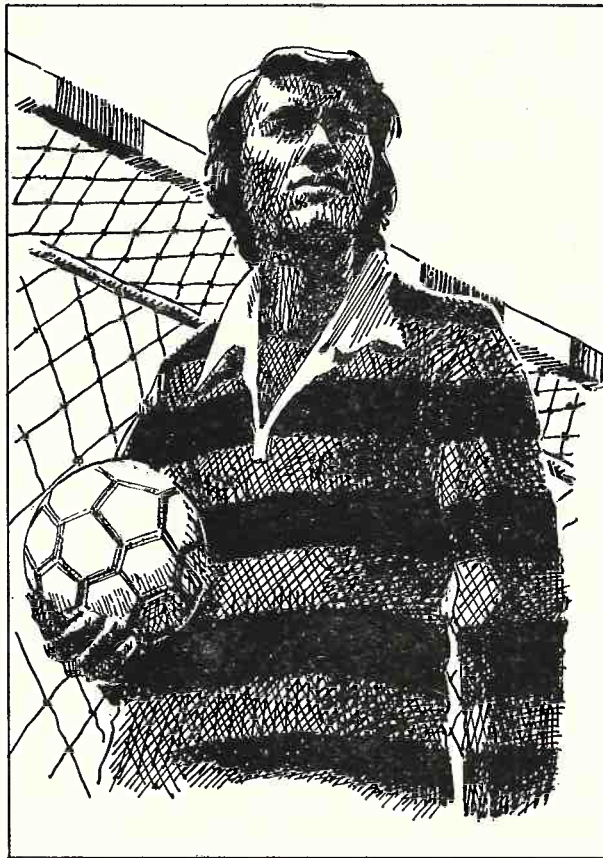
ジューキ

 東京重機工業株式会社

信頼・技術・情熱

スポーツマンと同じ道をブラザーは歩みます。

ミシン・編機・家庭電化製品・楽器・事務機・工作機……姿・形はちがっても、ブラザー製品の支えはひとつです。信頼される品質を作るすぐれた技術、製品にかけた情熱……スポーツマンと同じ道です。



BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社